京城日報

定價 發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介

一月二十八日夕刊（朝夕廿廿て八頁）

第四十一帝國議會

衆議院（七廿）

▼豫算委員總會（の續き）

午後一時十五分再會

▲湯淺凡平氏（國民）起立、米價調節に就ては姑息手段を執らず朝鮮、臺灣の開墾を圖るべしと述べ次に小口落し制度の弊害に就き當局の方針如何と質すや

▲山本農相 朝鮮の產業開發に就ては鋭意努力しつゝあり又小口落し制度復活否やに就ては聲明の時間に非ずと答ふ湯淺氏更に近來薪炭木材の騰貴甚だし政府の方針如何之に對し農相は官林拂下其他の方法に依り之が調節を期せんことを欲すと答ふ湯淺氏引續き勞働者救濟地主と小作人との關係に就き政府の所見を質すや農相目下尙調査中なりと答ふ湯淺氏質問を轉じ政府は朝鮮、臺灣總督府任用令改正の意思無きやと迫る

▲原首相 右は重大問題なれば慎重調査の要あり今日言明する能はずと答ふ湯淺氏更に朝鮮總督府にては別途會計の美名の下に歲入を圖ること急にして剛愎を敢てす可く幾多の事業を中止するの已むを得ざる狀態にありと即く政府の方策如何

▲原首相 會計の獨立を急ぐ爲め斯かる弊害を惹起せりとは認めずと述べ次に

▲下岡忠治氏（憲政）外交調査會の職能は自衞的なるや乃至單純なる諮問機關なりやとの問に對し首相は官制を一覽され度しと答ふ更に下岡氏は外交調查會存續は憲法違反に非ずやと追窮すれば首相違反に非ずと信ずと確答し次いで首相對森田茂氏（憲政）との間に大臣の職員に對する答辯に就き二三押し問答あり後上田彌兵衞氏は米穀の不足に就き質問す農相 右は外米輸入其他の方法に依り調節せんと答へ更に上田氏の米價調節の消極策如何との問に對し農相は代用食の奬勵雜穀類移輸出制限等に依る可しと述ぶるや上田氏穀類運輸狀況に就き政府の方針如何と質す之れに對し床次鐵道院總裁は米穀輸送に就きては優先權を與へ居れりと答ふ。上田氏尙ほ娓々として質問を續く議場稍氣味滿々米價問題に中毒の氣味あり內相、首相交々同氏の質問に對し應答せるが上田氏は更に在鄕軍人會改善等に就き陸相に質し陸相との間に二三の押し問答あり終りて

▲兒玉右一氏（新政）起立再び糧食問題に就き質問し次に普通選擧に就き政府の意見を質す

▲原首相 右は學理としては研究す可きものにして政府としては是非を言明するを得ずと答ふ更に兒玉氏質問の矢を他に向け營口山海關鐵道の將來如何又日本は京奉、津浦鐵道の利益に均霑し得ざるやと問ふ

▲內田外相 答曰山海關鐵道は支那に於て敷設す可きものなり又津浦線は英國との交渉の結果何等か留保しある筈なり次いで兒玉氏兵卒休暇の理由如何右に對し陸相は生産力に影響ありと信ずればなりと答ふ兒玉氏更に我製鐵を以て米國の製品と競爭せしむる可なりや否やと質す

▲山本農相 我製鐵工場は戰後大打撃を受け居れり依て何等かの方法を講ぜんと考へ居れど今日尙具體案無しと答ふ次に

▲望月小太郞氏（憲政）國際聯盟に關する政府の贊否如何この問ひに對し首相は贊否の意見を答へ難しと答ふるや望月氏更に主義としては如何と追窮す首相之れに對し勿論主義は贊成なりと答ふ望月氏然らば主義遂行の爲め平和會議の權利義務に對し決定的意志を有するや原首相之を說明するは我國の利益に非ず列國間にも秘密の申合せありと答ふ望月氏更に濠洲附近南洋諸島の始末如何を質せば

▲原首相 濠附は明言す南洋諸島は我以下に關係あるを以て何樣に論ず可らずと述べ午後五時十五分散會せり（東京特電）

◇聯國首相外相會議
講和會議を四段に分つ

巴里來電＝二十日聯合國首相外相會議開會日本よりは二名の委員出席したるが牧野男は始めての出席なり尙一般に講和會議と稱するも其出席議員の顏觸に依り四段に區別せらる即ち第一は本日二十日の會議の如く五大國の首相外相のみのもの第二は五大國委員全部出席するもの第三は五大國に加ふるに或る特殊事項に就てのみ參加する國家を以て成るもの第四は本會議なり（東京特電）

◇植民地協議會
日本二群島獲得か

倫敦來電＝二十六日の講和會議植民地問題協議會に於てスマッツ將軍は南亞弗利加を代表し獨領西南亞弗利加を要求する所ありしが此點に關しては滿場異議無かりし又英國は南西亞弗利加トーゴーランド、カルメンは勿論獨領東部亞弗利加に對しても或種の立中地帶の設定を承認するに躊躇せざるべし次に協議を要するはサモア及び太平洋諸島の問題あるのみ先般日本は赤道を割し其以北の島嶼を日本に於て領有せんとの提案を爲したるが同案に依れば日本はカロリン、マーシャル二群島を獲得すること、なるべし（東京特電）

◇葡國軍隊集中

倫敦來電＝リスボンよりの報道に依れば軍隊はモンサンテ山に集中し王黨旗を掲げたりと（東京特電）

◇王黨軍隊を砲擊す

倫敦來電＝リスボンよりの報道に依れば同地砲臺はモンサンテ山に集中せる王黨軍隊を砲したるが右軍隊は葡萄牙國前大臣之を指揮し居れりと傳へらる海兵はモンサンテ山より騎兵の襲擊し來るべきを豫期しリスボンに要塞を築造せり向襲聯隊首領アントニオ、アルベーダが自動車にてラシオの小路に現はれたる際群集は之を歡呼喝采せり（東京特電）

◇清津築港
政友會より提出

清津築港に關する建議案は政友會幹部會にて決定の上黨の建議案として提出する事に決定し二月一日の日程に上る筈なるが提出者は松田源治氏外四名なり（東京特電）

◇朝鮮將校陞級

李太王殿下御葬の祈廷側供奉の將校として今回特に陞級したるもの左の如し（東京特電）

陸軍步兵參尉 車萬觀
同 李秉衡
同 具鶴書
任步兵副尉（各通）

◇濠洲首相言動論難

濠洲某新聞紙はヒュース首相の言動を以て其權限外に逸脫せるものとして攻擊して曰く首相は同盟國に對し重大なる過失を爲せり彼れは太平洋諸島に關し濠洲の輿論と自稱するものを無遠慮に米國通信員に言明し累を日英國交に及ぼせり本國政府の意嚮をも確めず日本の惡感を惹起す可き放言を爲すが如きは言語道斷なり濠洲國民は首相の言を否認すと（シドニー電報）

◇米大造船所買收

米國の某商會は獨逸に於ける最大造船所の一なるレヒアン造船所を四千萬弗にて買收すべしと（巴里電報）

◎總督歸城期

長谷川總督は二十九日午前九時廿五分南大門驛着列車にて歸任すべし

◎定例長官會議

二十八日午前十時より總督府第一會議室に於て定例長官會議開催政務總監以下各部長官局長並に所屬官署長等參集重要政務に就き協議せり

◎辭令

二十七日附左の通り辭令ありたり

總督府試補 下村充義 任總督府事務官（七等）
總督府試補 河野節夫 總督府事務局總務課勤務を命ず
總督府試補 美座流石 任總督府道事務官（七等）黃海道在勤を命ず
總督府試補 湯村辰二郞 任總督府道事務官（七等）咸鏡南道在勤を命ず

◎龍山師團新編成
第十九師團の羅南移轉期

龍山に駐屯せる第十九師團司令部は來る四月一日より咸北羅南に移駐し龍山には新に第廿師團司令部の新設を見る事は朝鮮增設師團既定の計畫たり右に就ては東上中の大野軍參謀長白石師團參謀長共に一兩日中に歸城の筈なれば多分その東上中打合せも終りしならんとの事なるが聞く所によれば龍山第廿師團は古海殿利中將を師團長とする岡山第十七師團にてその編成に當る事となり居れるもの如く該編成進行し新師團附の內命を受けしものは何れも龍山出張を命ぜられ三月末までには入城せざるべからず師團長並に參謀部副官部等も四月一日第二十師團司令部の開廳前龍山に到著する運びとなる模樣に付從つて現第十九師團司令部員は遲くも三月下旬までに羅南に向つて龍山を出發する事ならん唯その日時は新師團編成の確定を見ざる際とて未だ明かならざれど近く何れか決定を見るべしと

▲特科隊新設 龍山第二十師團に屬すべき步兵二個旅團は龍山平壤兩旅團の管下四個聯隊を以て充當する譯なれど特科隊は全部新設の要あり現在屯の騎兵は羅南の分遣なり然も七年度に於ては騎兵は新兵營に一個中隊砲兵は同じく豫練兵場の砲兵營に大隊本部並に二個中隊が編職あるのみにて工兵の如きは敷地の決定は見居るも然も未だ兵舍の新

◎講和會議と東洋の將來
國際聯盟の可能性及歸結如何
貴族院議員侯爵 小村欣一氏談

講和會議は漸次具體的商議の域に進み五大強國の準備會議も一段終りを告げ一月十八日愈聯合國總會の正式開會を見るに至つたが聯合側交戰國及び敵國に對する

▲國交斷絕國 のみにても其數三十餘國に上り殊に東洋に於ては我が日本を始めとし支那及び暹羅も參加したが要するに今回の講和會議の歸結如何は其の東洋に及ぼす影響の重且つ大なるは多言を俟たぬ、況んや今回の講和會議は、敵國に對する講和條件の決定は寧ろ附隨たるものであつて其主要なる目的は人類の力の出來得る限りを盡くして、永久

▲平和の確定 を計らんとする點にあるは勿論である、從つて一部人士の間には殆んど空想視されて居つた國際聯盟、經濟上の障壁撤去、延いて軍備制限、商業上の條件均等といふが如き、又國民生活の精神上物質上最も緊切なる利害に觸るゝ諸問題も亦或る程度迄決定せらるゝものと豫期せねばならぬ、されば東洋全般に及ぼす變化如何に就いては、今より各方面の人士の最も考慮せねばならぬことである。遮莫、先決問題として重大なる三個の要點がある而も此の要點は、何れも我が國有識者の間に於て

▲比較的輕視 されては居らぬかと思はれる、第一は敵國特に獨逸に對する反感及び熾烈な點である。英、佛、伊、白等本國に於ける人心の激昂は夥しくカイゼル引渡問題、英國に於ける敵國人全部追放及び獨逸食料供給に關する英、佛、朝野の制限論の如き、何れも之を證して餘りあるものがある。第二は永久平和に關する一般民衆の欲求が想像以上に激烈なることである。國際聯盟の如きも、當初米國大統領により唱へられ、又英國の前外相グレー子によりて說かれ、當時に比すれば、殆んど隔世の感がある程の

▲進捗を示し てゐる。今日にては特に英、佛、伊等に於ける國論は、他に永久平和を確立する方法無しと、以上如何なる犧牲を拂ふも國際聯盟を成立せしめ、人類努力の最善を盡して平和を確立したいといふ強烈なる熱心は、殆んど一の信仰ともいふべき程度に進んで居る。戰爭によりて有らゆる產業組織を破壞せられ、其の肉身兄弟を失ひたる我聯盟國民より見れば、蓋し吾人想像以上の感情の存することは、又事實として認めねばならぬ（東京支局）

◎鮮鐵時間不改

滿鐵本線に於ては二月一日より列車時刻の改正を實行するも安奉線の改正は現行と殆んど差異なく從つて朝鮮線の時間表は改正の必要なし唯目下四月一日頃より多少時刻の變更をなさば如何との件に付調查を進め居れど果して實行すべきか否かは滿洲線との協調に俟たざるべからざるを以て確定するに至らずと滿鐵運輸當局は語れり

◎鮮鐵停滯貨物

一月二十日現在に於ける朝鮮鐵道の內地運絡貨物を除く外の滯貨總量は十三萬七千五百噸にして內主要のものは鐵三萬一千噸、米二萬五千八百噸、石炭一萬五千噸、大豆一萬一千噸、雜穀五千百噸等なり

▲米の滯貨 二十日現在米穀の停滯二萬五千八百噸の內譯は左の如し

線別	米の停滯量
京釜線	一七、八四六
京義線	四、七〇一
京元線	二、七四五
湖南線	五四五
合計	二五、八三七

にして全線各驛に於ける各港行きを港別すれば廿日現在左の如し

港別	廿日現在	十日現在
釜山	一五、九四七	一四、八二四
群山	二、一五六	九六八
京城	二、三六一	二、四二八
仁川	二、五六六	二、四四七
鎭南浦	七三五	四四六
元山	九九	二六七
合計	二三、八六四	二一、三八〇

元山を除く外各港共相當量の增加を見居り殊に群山に於て激增しをり

▲大豆の停滯 二十日現在各線に於ける大豆の滯貨は左の如し

線別	大豆停滯量
京釜線	一、二〇八
京義線	七、九一二
京元線	四七
湖南線	二、〇九七
合計	一一、二六四

尙ほ來月初旬まで西伯利出征軍の後備兵凱旋輸送あるに付滯貨は約二割の減退なるが一方出廻りは漸增の模樣に付停滯量の增加は免れ難からんと

◎運賃値下げ
一時に四十圓下げ

大阪商船會社仁川支店にては仁川阪神間運賃二百二十五圓を二百圓に値下げせしも其後海運界は益不振の趨勢を持續するより今回尼ケ崎汽船と協議の結果更に四十圓下げの百六十圓に引下げたり（仁川）

◎仁川期米下押
內地安に軟調

東京大阪下關各米穀取引所は二十七日後場に於て五六十丁方の暴落を來たし材料は尙ほ明かならざれど月末に於ける賣方の崩れ退き一巡したること政府の米價調節態度稍強硬なる事又見直し事餘りの高値に正米の出廻りを見初めし事等なるべく從つて仁川定期市場二十八日の前場も之れを前日の前後場に比すれば三四十丁方下押し先限卅六圓廿錢に寄り附高值三十五錢安值零五錢あり結局二十五錢に打止めたるが京阪並に仁川三市場の寄附を比較すれば左の如く値鞘は百八十丁に縮まり居れり

二十八日本場寄附
東京先限 三十八圓八錢
大阪同 三十八圓十一錢
仁川同 三十六圓二十錢

尙ほ仁川市場は正米高を根據として內地市場の値頃を無視せる譯なるがその何れより鞘寄せすべきかは興味ある問題たり若し內地市場軟化を來さずや思ふに今日の鮮米の買手數料その他を見込めば大阪仁川間の値鞘は少くも三百丁を有して可なる筈にて目下の仁川市場は百餘丁方高張り居れるものと消息通は語れり

◎凱旋將卒著釜

第一回凱旋西伯利出征軍園田聯隊長歐州西村指揮官以下五十六名は廿七日午後三時五分釜山港着棧橋車用停車場に著したるが副驛には若松釜山府尹、宮村警務署長、吉成在鄕軍人釜山分會長、岡村驛長、愛國婦人會代表者其他有志出迎へ將卒は各旅館に分宿せり（釜山）

◎食料根本問題
之が解決策如何（上）

京城商業會議所大村書記長は目今の米價が昂騰に次ぐに昂騰を以てし遂に昨年の騷擾期同樣の高値を現出するに至りし尙ほ不足の聲高き今日食糧に對する根本問題を解決するの必要ありとて左の如く語る

▼日本人の主要 食物たる米價の暴騰は直接間接に國民生活の不安を誘致しつゝあるが而も昨今の米價は其の需給の關係上殆ど己むを得ざる歸趨と云ふべく之が根本問題を攻究する所無く單に米が高いとて騷ぎ廻るとも何等其效を奏することは困難なるべし元來內地に於ける米の不足は既に明かなる所にして一人一年當り消費量約一石一斗、內地人口を六千萬とし見積るも一箇年間の消費量は六千六百萬石となり內地の實收高を約五千七、八百萬石乃至六千萬石とすれば其間尙ほ六、七百萬石の不足を見るは自明の理なり而も

▲內地に於ては 殆んど增收を圖るべき餘地なきもの、如し然るに此點に於て我朝鮮は比較的樂なる地位にあり即ち本田博士等の說によれば朝鮮は尙五割位は增收の見込あるべく現在に於ても三百萬石乃至四百萬石を內地に移出するも鮮內住民の消費米に不足を來すことなきが如し即ち米價問題を朝鮮のみに就いて考ふれば極めて簡單なる問題にして內地に對し餘剩を移出して米價問題緩和の一助たらしむべきも內地に於ける米不足問題の全體が直接我が

▲植民地に襲來 するが如きは之を避けたきものなり即ち若し米價の昂騰を期せんとせば宜しく其根本問題の解決を圖らざる可らず第一米を如何にして充足せしめ得べきか之れに對しては消費者に於て相當代用食物を用ふることも必要なるべく所謂米無し日を決定するが如きも最も消費量減退に有効なる措置と云ふべし

◎白川中將歸東

西伯利方面視察の途次入城中なりし陸軍士官學校長白川義則中將は二十八日朝退城歸東せり

◎大野參謀長

東上中なりし朝鮮軍司令部參謀長陸軍少將大野豐四氏は廿八日朝釜山上陸鐵道ホテルに休憩午後十一時卅分發列車にて廿九日朝歸城すべしと（釜山特電）

◎海事課長更迭

遞信局海事課長伊藤定弘氏は當職來一身上の都合により退職の意あり久しく內地に旅行中なるが當局にては二十五日附計理課長佐々木三郞氏に海事課長兼務を命じ伊藤氏は海事課勤務となれり尙ほ伊藤氏の內地旅行後佐々木氏は事實上に於て海事課長事務を掌理しゐたりと

◎英副領事轉任

在京城英國副領事ロイゾ氏は臺灣淡水領事に轉任不日出發すべしと

人事

▲定田玄瑞氏（總督府土木局技師）攝津棧橋修理指導の爲二十七日附慶南金海郡管內へ出張を命ぜらる
▲鈴木哲郎氏（總督府鐵務課技師）鐵業調査の爲二十七日附平北管內へ出張を命ぜらる
▲石垣清氏（同上）同忠北江原管內へ出張を命ぜらる
▲淺海太郞氏（同上）同咸南管內へ出張を命ぜらる
▲惡藤不二男氏（關東都督府副官中佐）二十八日朝釜山上陸北行（釜山特電）
▲新田留次郞氏（鐵道局工務課長）同上
▲東拓拓殖課長 二十七日夜南大門發東上

八面鋒

◆將に露國の轍を踏まんとしたる獨逸は、危なき處で漸く一命丈けは取り止めしが如し。即ち總選擧の結果は、エベルト等の現政府派大勝し、過激派は一敗地に塗れたり。それを要するに、此の結果たるや、獨逸民心が、尙ほ穩健なる政府を歡迎し、國家の秩序維持を熱望するの念熾なりしを證するに足るべし。

◆獨逸の新憲法は、其の大體に於て皇帝が、任期七箇年にして、再選し得べき大統領と代りし丈け也即ち皇帝政治が共和政治に入れ替へられたるもの也、其內容を一貫する聯邦結合の精神は依然たり。

◆獨逸は國力に於て、一時疲弊の頂上に達せんも、國民各個の素質は必ずしも未だ衰へたりと云ふべからず、今後の獨逸は依然として、世界舞臺の競爭場裡に立つを得べし。

◆大羅馬尼、大塞爾維と、國粹的新興國の續出に對して、茲にもの・憐れを止めしは土耳古也。休戰條約と共にダーダネルス要塞破壞は宣告され、其勢ひを誇りたるオスマントルコの國も、今は昔の夢なれや、愈々滅亡の衰史を飾らんとし、半月旗の光り寂條たり。盛衰興亡は敢て珍とするに足らざるも、會長オスマンが土耳古の王と稱してより、茲に六百七十年、憐可哉

◆素人義太夫の天狗あり、一夜友を招いて語る、聽者盛んに彌次れば太夫大いに立腹し、彌次るものは此の席に來つて語つて見ろと、彌次る者聲に應じて曰く、然らば此處に來たつて聽いて見ろと。野田遞相議會に臨まんとして曰く、餘り無理な注文をする者共には、然らば自分でやつて見ろと云はんかと、發太夫の話と、好一對也。

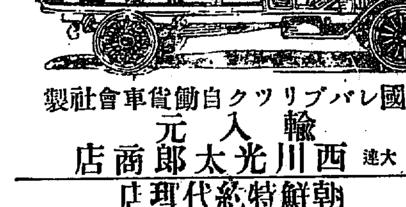
資本金 貳千貳百七拾萬圓
積立金 壹千參百參拾萬圓
總預金 貳億七千萬圓
株式會社第一銀行京城支店
京城本町二丁目 振替貯金京城一一〇一一番 電話一二三、一六六、一七七番
頭取 佐々木勇之助
支配人 竹村利三郎

蒙古產 曹達灰
東京市麴町區內幸町一丁目六番地
協和洋行
電話新橋

朝鮮學術研究會編
朝鮮 中學校 高等女學校 商業學校 高等普通學校
入學試驗問題答案集
大正七年度 四六版二百餘頁 ▲定價金五十錢 送料四錢
入學の榮を得たき學生諸氏は至急本書を座右に備へられよ
發行所 京城本町 振替二三三二 ウツボヤ書店
發賣元 京城太平通 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部
取次販賣所 ▲大阪屋 ▲岩松堂

撫順炭
山下製コークス
特約販賣 京城府漢江通十三 實榮商會 電話一〇七番

二噸積貨物自働車



米國バレプリツク自働貨車會社製
輸入元 大連 西川光太郎商店
朝鮮特約代理店 榮洋行 京城永樂町二丁目電話壹壹四七番

東京山本大印石版活版インキ特約販賣店
帝國火災保險株式會社京城代理店
大阪海上火災保險株式會社
つちやたび並にいろはたび朝鮮代理店
貿易雜貨商 藤富國太郎商店
京城本町三丁目 電話三〇八番 振替京城一七八番

商號變更廣告
小生儀從來㊂の商號にて營業罷在り候處今般都合に依り㋖の商號に改め從前通り營業仕候間不相變御愛顧御引立の程奉懇願候
仁川米豆取引所仲買人
㋖仲買店
店主 平田直達
電話一五八番一五九番 電略（カネキ）又ハ（キ）

大正七年七月一日改正現行

〇國葬儀順序

三月四日午前八時 靈柩德壽宮御發門

李太王殿下の國葬日取内定に就ては本紙特報に於て逸早く報道せしが尙確かなる筋より本社の聞知せし所に據れば李王職に於て更に右日取の下相談を遂げたる結果確實に三月四日と内定せしもの、如く右と同時に御葬儀の順序も内定したるが夫によれば同日午前八時頃靈柩は德壽宮御出門、途中東大門外安甘川附近に於て永劫の訣別を意味する路祭の儀を執行せられ正午頃葬祭場に參着の筈なり

▼葬祭場は淸涼里か 閔妃も同時に御移葬

葬祭場は淸涼里に確定せるものゝ如く茲に於て盛大なる國葬の儀は執行せらるべし而して閔地所在の洪陵より閔妃の靈柩を葬列に加へられ御葬所金谷里に向け出發、儀仗兵其他は多分葬祭場より引還すべし而して葬列は午後十時頃に至りて金谷里の御墓所に御着、李王、王世子殿下を始め參列者一同悲愁極りなき裡に埋葬の式は擧げらるべし

▼李王殿下御接見

李王殿下には二十八日より咸寧殿裏の德壽殿を接見室に充てられ總督政務總監其他國葬儀員入城參宮の人々に對して御接見相成べしと

▼唯感泣の外なし

御葬儀は大體朝鮮の古例に依り度い
國分李王職次官談

李太王殿下國葬の儀は愈二十七日勅令を以て發布され同時に國葬儀員の顏觸れも發表ありたるが右に付國分李王職次官は語る『李太王殿下の御葬儀は 聖上陛下の深き御思召しによって

▲特に國葬 の重儀を以て執り行はせらるべしとの公報に接しまして我々職員として洵に聖恩の有難さに感泣の外はありません。實は昨日原首相から右の由報を頂きまして早速李王、王世子兩殿下に

▲其旨言上 致しましたところ兩殿下には 聖旨の優渥なるに痛く御感激遊ばされ我々に對しても交々御感激の御言葉を陳べられました。李王職では早速國葬準備の下相談を開き其の大體は朝鮮の

▲古例に依 ることにしたいとの方針でありますが國葬は國葬の體があり當方で勝手に定めることは勿論不可能のことであるし國葬掛員來着の上篤と協議を重ねた結果でなければ如何なる樣式に據るとか云ふことは斷言することが出來ません。

▲李王殿下 には只今のところでは葬儀當日まで德壽宮に留まり太王殿下の御靈柩の側を離れ給はぬ思召しですが殿下の御健康其他に就ては我々極力御注意申上げて居ります』

▼孝德殿 殯殿に御命名

李太王殿下の御靈柩を納められたる殯殿は葬儀終了後魂殿と爲し孝德殿と名づけらるべし

▼萬事は委員會で決定

國葬の順序其他は李王職に於て下相談の結果内定せる次第にして國葬委員會の會議に附し熟議を重ねたる上確定すべきは勿論にして多少の變更は免れざるべし

□東宮殿下へ頸飾章 閑院東伏見兩殿下にも

天皇陛下には來四月廿九日御成年式を擧げさせらるべき皇太子殿下と近く特派勝祝使として各聯合國に御差遣相成るべき閑院宮殿下並に英國皇帝陛下に我元帥刀捧呈の御任務を果して先程御歸朝ありし東伏見宮殿下に對し近く菊花章頸飾を御親授相成由

▼軍隊の堵列

國葬當日は一個師團の儀仗兵を御靈柩に附し參らするの外御葬列沿道警備所には多數の軍隊も御靈柩を御見送り申上げ敬弔の意を表することなるべしと

▼御停止で 市中は火が消えたやう

李太王殿下の御發喪と共に鮮人側は勿論京城市民は一樣に哀悼の意を表し軒頭に連なる半旗にも赤愁ひの色が漂つて居る殊に花柳界方面では謹愼の意を表し妓生などは引續いて業を休み内地人側の各料理屋でも歌舞音曲を愼しんで居たが二十七日夜十時に至って府令を以て向ふ三日間歌舞音曲を停止する旨發表されたので各活動寫眞館、劇場、寄席等は同時刻一齊に興業を停止したそこで二十八日からの市内は火の消えたやうに淋しみを加へ愁ひの色が更に深くなつた

〇東大門市場の火事 八戸を全燒

二十八日午前五時頃東大門市場構内魚物商金昌根方より發火し見る〳〵内に八戸二棟を全燒して同六時頃鎭火せるが原因は市場構内夜番孝悌洞二三六番戸朴漢喆が前夜十二時頃夜廻りをなしたる際同所に於て莨を吸ひ付け其吸殻を投捨て其儘となし置きたるより附近に積みある藁に燃移りたるものにて損害約二、六千圓なりと

〇蘭屋殺しの控訴公判

彼の鬮商殺し殺人强盜部野川義雄は當地方法院に於て死刑の宣告を受けたるを不服とし既報の如く直ちに覆審法院に控訴せるが右公判は吉川康馬の私訴審理にて意外に手間取たるも此程愈審理終了したれば廿八日一件書類を覆審法院に廻附せり不日公判開廷さるべし

〇松葉賣を絞殺して 東大門の强盜 犯人二名逮捕

楊州郡長興面三城里一九八韓致善男韓一福(二九)が牛に松葉を積んで廿六日午後七時過ぎ東大門附近を行商中同八時頃屈强の鮮人二名が突然現はれて韓一福に向ひ松葉全部を買取りやるにつき其處迄ついて來いと再橋附近の畑中へ連込み隙を見て韓一福に組み付き細を首に卷き付て絞殺したる上金二圓入の財布及び牛を强奪し去りたり急報に接し鍾路署の島村警部は高橋部長を隨へ現場に急行し檢視を遂ぐると共に一方活動を開始せる結果深更に至り犯人二名は遂に逮捕せられ目下鍾路署に於て嚴重取調中なるが犯人は牛殺らしき模樣なり

〇女學校に猩紅熱發生 梅組は三日間休業

高等女學校第二學年梅組生徒中に猩紅熱患者を出せし爲梅組は廿八日より三日間休業する事となれり

〇老婆の重傷

二十七日午前十時三十分發急行列車が草梁を發して間も無く佐川洞二四金致雲母李召史(六〇)が老體の悲しさ汽笛の音も耳に入らず線路を横切らんとして跳飛ばされ頭部に傷を負ひたるより直ちに鐵道病院に舁ぎ込み加療中なるも生命覺束なし(釜山特電)

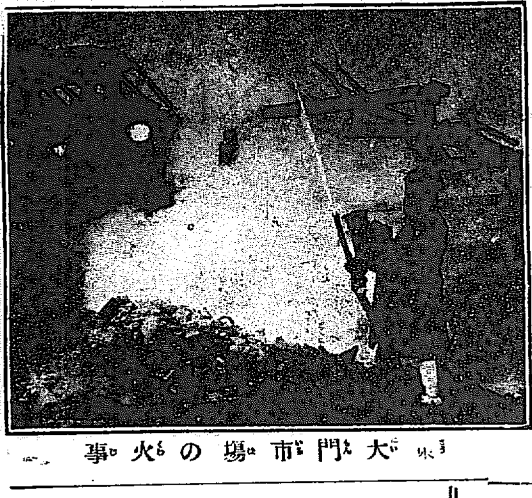
〇蘆で織物製造 外に手輕な速成建築

近く獨逸からの通信に據ると日本に於ても沼其他各地に繁茂してゐる蘆の纖維を織物に利用する事を發見しグルッシュウ井ツク織物工場其他獨逸の株式會社に於て之が製造に着手したが製品は極めて良好で一方原料たる蘆は之を

◇組織的に 栽培する時は大いに增收の見込みがあるから是を以て亞麻の代用品とし亞麻を專ら精工紡績に用ふるが有利であると主張して居る、又戰後に於ける大問題たる居住問題の解決に資せんとして、目下開會中のライプチヒ府の

◇見本市で は新に建築科及び工業科なるものを設け所謂鐵筋コンクリートの如き廉價で速成建築に便利な材料を始め各種速成小家屋建築の模型及び硬質コンクリート製鐵道枕木、貨車用板、坑穴用材、電柱、船舶其他從來使用された煉瓦の

◇四倍大の コンクリート建築材料、兩面に空間を置き寒暑及音響を防止する壁、火事其他非常の場合に容易に取出し出來る木造家屋其の他架構を用ひざる屋根、石造の戶等何れも將來有望なる代用材料を出品し又建築科内に建築相談所を設置して代用材料賣買の仲介をして居ると云ふ



（寫眞）大門市場の火事

〇鳥人スミス銃殺説 老母も彼れも獨探であつた

鳥人スミスは我國人士の絶大なる賞讚を博した米國の宙返り飛行家アートスミスは其後米軍に從ひ佛國に出征したが頃日傳ふる所に依ると其の老母諸共佛軍の手に銃殺されたとの事である、これは全く其の間諜術の巧妙なる事には吃驚の他はないが其の技術に

▲彼が獨探 であつて其母の如きは實は男子で獨逸將校の變裝したものであつたのが端なくも露見されたからであるさうだ、

▲眼を眩惑 され今迄誰しも之を獨探なりとは氣付く者がなかつたのである、我國へ伴ひ來つた老母も果して獨逸將校の變裝した者か、或ひは眞の母親かそれは未だ明白でないが何れにしても驚くべき事と謂はねばならぬ

〇北滿西伯利の金儲け 日本人は見當違ひして大損して逃げ出す

北滿シベリアには金儲けの種が無盡藏に轉がつてゐる物資が缺乏してゐるから品物さへ持つてゆけば大金儲けが出來る一躍して大々的成金に成れるとて昨今我商人の

▼出掛 けてゆくものが其跡を斷たないがその癖大部分は失敗をして這ふ〳〵の體で逃げ歸つて來る併し之れは同地方に金儲けの種がないためではなく、ゆくもの、遣り方が惡いからで彼等の遣り口は甚く無茶の限りを盡し先方の事情を確めずに砂糖の缺乏してゐる所へ麥粉を持つて行つて見たり、麥粉のない處で莨を持つて行つたりするので

▼賣れ ようわけがない、また第一滿洲里の稅關で締められるやうな物を持つてゆくものさへあるので殆ど沙汰の限りである、それで首尾よく缺乏してゐる品物を持つて行き當ても始めから契約してあるわけではないので先方では何れも咽喉から手が出る程欲しい品物でも眠さ辛抱して見向きもせず出來るだけ値切り倒して買はうとするので、元來

▼我慢 する事の出來ない性分の邦人は泣く〳〵安く手放して了ふ事になるのである、それに近來同地方の商人は何れも横着になり、まるユダヤ人と支那人ばかりで正直な露國人は殆どゐない、假令相當の値で品物を賣つても扨て支拂ひの點になると役にも立たぬ過激派の紙幣などで支拂ひ通用する貨幣を要求するに五十日も六十日も引つ張つておき泡能くば

▼踏み 倒さうとする者が多い餘程心を締めて行かなければ儲ける事は出來ないのである、併し何と云つても物貨は非常に缺乏してゐるのであるから相當の準備と方法とを講じて愼重の態度を以て出掛けて行けば儲けは充分にある

寫眞説明

（上より）國葬儀掛長山縣伊三郎氏、同次長伊藤博邦公、同李完用伯、祭官副長尹德榮子

▼貧困者へ施米

市内竹添町三丁目資産家[illegible]鉉(五九)は正月切迫に加へ昨今の米高にて貧困者の困難せるに同情し一人に付米一升宛を同町内八十戸二百四十名に施與せしは奇特と云ふべし

〇死刑執行

昨年七月廿日京畿道揚平郡席田里李庚頊を殺害して百四十圓を强奪せし同郡江上面辛學喜(三〇)に對する殺人强盜事件は廿五日當地法院に於て死刑の言ひ渡しありたり又京畿道開豐郡西面鄭禹善(二二)は同面男安順三(三)と姦通し其上安順三と共謀して鄭禹善を慘殺せる殺人事件も同樣廿五日兩人共死刑を言ひ渡されたり

〇相撲給金直し

東京大相撲協會より左の如く發表せり
大の里▲四圓五十錢 栃木山▲三圓 大錦、對馬洋▲二圓五十錢 駒泉、両國、阿久津川、筑後川、湊山、吉川、小勝山、梅の谷、常陸岩▲一圓五十錢 宇都宮、射水川、明治野、陸奥山、桂川、綾浪、龍の宮、大倉山、北海山▲一圓 富の花、大門岩、御西山、小手田山、大蛇山、鳴の海、佐賀鶴、國の浪、能代潟、若林、高野山、太刀の海、鞍ヶ嶽、宮城川、千葉の浦外四十一名▲五十錢 鳳、千葉ヶ崎、福柳、岩木山、八甲山、友の浦外十七人▲廿五錢 朝潮、源氏山、土州山、九龍毛小兵十五人

京城日報社主催 氷上滑走大會延期

李太王殿下國葬に付敬弔の意を表する爲め御葬儀後迄延期す!!!

◇學士になる迄 切詰ても二千圓懸る

東京帝國大學を卒業するには何位の學資が要るかとはよく出る問であるが大學の學生監室で調査したものによると大凡斯う云ふ勘定になる先づ入學料が五圓に

◈授業料 が一年五十圓で學校に納める金は醫科大學の醫學科の二百二十五圓を除いては他に皆百五十五圓で下宿料は一箇月一切で十八圓二十錢乃至二十八圓八十錢で矢張り醫學科の千四百九十七圓六十錢乃至九百四十六圓四十錢の外は千三十六圓八十錢乃至六百五十五圓二十錢といふ處であり最もこの調は昨年七月としてあるから今は

◈少し騰 つてる、制服（夏冬とも）外套代は百二十二圓から八十圓、靴代（深ゴム編上二足）は三十四圓四十錢から二十一圓四十錢、教科書や參考書雜誌類の代は醫學科の二百六十圓を最高、應用化學科の十圓を最低として六十圓から百圓百五十圓、學用品代は藥學科の二百圓を最高物理

◈化學科 の二十圓を最低として四五十圓から百圓、百二十圓其の他研究旅費が工科大學では土木工科の九十四圓から電氣工學科の二百二十五圓、理科の植物科が三十圓から百三十圓、地質科が二百二十圓、農大の農學科の五十圓、林學科の二百圓といふのがあるそれから諸會費が七圓もかゝる結局之を合計すると

◈一番多 くかゝるのは醫學科の二千六百二十圓四十錢乃至二千四百五十六圓二十錢、物理學科の千二百六十二圓二十錢乃至八百二十五圓六十錢となる

仁川期米

▲二十八日後場 各地寄來薄なるも中限三十五圓五十錢より七十錢ありて六十錢引 [illegible]
錢六十錢平均値六十錢 ▲先限一節三十二圓三十二錢三十錢 二十八錢三十一錢三十錢 [illegible]

仁川米豆取引所 二十八日の二月限

後場 寄付 [illegible]

〇長春から逃げた藝妓

[illegible]二千餘圓を踏倒して[illegible]東京小石川區大塚仲町九〇永野[illegible]妓樂[illegible]番に宿泊中夜に乘じて逃走し行方不明となりたる由にて其の筋に搜査願ひを提出せり（平壤）

〇雪の多き歳（釜山）

[illegible]つて寒氣も甚だしきが斯の如く降雪多きより海陸交通上に障害を來し海上にては各沿岸船の如き降雪[illegible]

〇振舞酒で亂暴

[illegible]にて[illegible]酒宿を以て[illegible]

天氣

地方 京城 [illegible]
曇一時晴
[illegible]

呉服屋の半値段で買へる譯
織元 仲買 市場 問屋 呉服店
この機に多數商人の手を經て皆樣の手に渡る時は非常に高價となる 當店は皆樣の御便利を計り（年額四千萬圓の織物大産地）足利より直接販賣開始以來各地の需要者間に大評判を博して居ります 全國工場特製の大正八年式何れも一粒選りの珍柄を左記破格特價を以て提供致します引續き御用命を願ひます 御注文は品名及び男女別年齡を記し代金引換便にて御送り致します ◎一般に次第珍柄の良品選定の上
◎特産組絹本大島絣 十三圓 ◎大島絣二等品 八圓五十錢 ◎特製高貴織 十圓五十錢 ◎本絹紬紳士向 九圓五十錢 ◎羽織コート地 九圓 ◎羽二重御召 ◎特製御召 六圓五十錢 ◎特上絹セル 七圓五十錢 ◎最新銘仙 六圓五十錢 ◎珍柄名仙男女向 五圓五十錢
◎新製朱子男角帶 三圓廿錢 ◎紋織羽二重 三圓八十錢 ◎女友仙羽二重 四圓五十錢 ◎京柳女帶地 二圓九十錢 ◎縮緬紬男物 三圓九十錢 ◎實用大正名仙 二圓九十錢 ◎大市縮兵兒帶 二圓七十錢 ◎中巾縮緬兵兒帶 二圓廿錢
近來弊店の信用をねたみ類似の廣告をなす者あれば御注意を乞ふ
栃木縣足利町六丁目（振替東京三三五二七番）
丸登足利織物合資會社

捕獲用極上等絹糸製 カスミ網
高サ六尺三間 二圓 高サ六尺五間 [illegible] 二四圓五十錢
前金に限り送料引換 送料貳拾貳錢
捕雀の時季は今です カスミ網は小供でも張れます一度に數十羽位は容易く捕れますから晩餐の御菜のみでなく樂みと運動にもなります
朝鮮京城永樂町
吉備商會製網部
電話三一四番 振替京城四三一八番

木材新荷着
北海道松 一分五厘板數萬坪
上中品位ノモノヲ撰別ナクシテ請求ナシアル故使用上特殊ノ利益アリ
右仁川海岸著荷 遠地御入用ノ御方樣ハ同地ヨリ直接輸送ス
關東豆滿江 紅松 産 良原木 二間三間 三間半四間 尺五寸以上
右京城著荷 但遠地御入用ノ御方樣ハ鴨綠江岸及元山海岸ニも繫留有ル故同地ヨリ直接輸送ス
右薄利商談可仕候
京城府黃金町 丸一材木店 電話一三三八番
出張所 新義州本町 電二五八番

圖樣造品出續乞御注意
オキシパサー
本器は科學界の泰斗マイケルファラデー氏の發見に係り氏の唱導せるダイヤマグネチズムの原理に基く大氣中の酸素を利用し[illegible]
肺病強壯 [illegible]
功力永久にして器械代以外に藥品等の費用を要せず何等の不便にして婦人子供にも容易に使用することを得[illegible]
◈本品は輸入創始明治四十四年なり切にパサーの名に御注意
特約販賣 京城太平通 電話六〇〇九番 京城日報社代理部 振替京城三〇〇
定價金參拾九圓
京城太平町二丁目七十三（太平町大通り）
入院隨意 片山内科醫院 電話九五一番

…二十八錢と押せしも押目買に…結局三十…に上向き四十錢と持上げ結局三十八錢と打止めたり
後場中限一錢三十五圓五十錢七十…三十九錢八錢九錢四十錢三十九錢…八錢九錢八錢九錢八錢

下均値段 …

…中十二月二十五日哈爾賓に…ゆることなり前借二千餘圓を…受け…人と共に同地に赴く途中

…平年なるが本月に入りても降雪…の連日の如く殊に十四十五兩日夜如きは各一尺乃至寸宛の降雪あり從つて…鐵の行通常に杜絕の姿…運搬及び通信上等に障害…

來朝中の米國女流飛行家ロー夫人大隈侯邸訪問◆

◎奉天より
支局にて 老禿生

◇多年の懸案にして奉天安東兩地が主張し居たる安奉間電話開通の問題も愈八年度豫算に計上されたりと加藤管理局長は聲明せり。是れ兩地の主張貫徹したるものにして慶賀に堪へざる處なるは勿論滿蒙開發に一段の貢獻を見るや必せり、と同時に一日も速かに該線の工事竣功と使用開始とを翹望するものなり、而して此の時期に順應して企畫せし當局の勞を多とせずんばあらざるなり

◇チエック族を代表して佛蘭西の歐洲大戰の講和會議に參列すべき重大なる責務を負へる一行は廿六日長春より滿鐵特別車に搭乘し奉天に來り京奉線にて天津經由上海より海路目的地に向ふ事となれり滿鐵の一行に對する待遇は懇切を極むるは蓋し當を得たるもの、然れども我が國の西伯利出兵の宣言は正にチエック族援助を以て盡ると云ふも可なり。而して目下のチエック族が其の將來を思へば該一行の使命決して輕しとせざるも我が國に右一行に對するものは更に一層重且大なるものあるを思料するを要す。爰に於て右一行の行を盛んならしむると共に翻つて我が國の責任を思ひ再轉して兩者の光榮ある將來を待たずんばあらざるなり

◇滿洲に移住し來りたる鮮人保護援助の問題は屢本紙の論述したる如く我帝國として極めて重要至大の事に屬す。而して從來の形跡に稽ふるに在滿邦人は官民ともに多く鮮人に對する理解を有せず殆んど風馬牛の態ありしを近來此處に着目し來る者漸く多く殊に西間島より柳河通化など各地に對する保護の方法援助の手段等官民を通じて具體的に進捗し既に着々諸種の問題を提げて當局官憲は勿論民間事業家資本家等に交渉し來るの傾向極めて顯著なるを見るは洵に欣快とする處ならずんばあらず此の際叙上兩者に對し是等提案者の滿足を得べき樣各般の準備を進められん事眞に希望に堪へざる所なりとす、

◇滿洲に於ける鐵道貨物の滯積は今や五十萬噸を超ゆ日々數百數千噸を增加し殆んど制止する處を知らざるの現狀は正に空前の事に屬す。此の際滿鐵國澤理事長は狀況視察を企て廿六日を以て此の行を了らんとすと聞く、他面滿鐵は戰後の經營及び從來の事跡に鑑みて明八年度は鐵定例の大計畫を樹立し運輸事業の面目を一新し來らんとするもの、如し。と傳ふ正に其の然るべきを首肯せしむるに至る、然れども計畫の樹立豫算の計上益々實地視察調査は可ならざるにあらざるは勿論ながら更に尙ほ改良革新を促すべきもの尠からざるを覺ゆるは吾人のみに止まらざるべし、幸ひに外形內容を整頓充實革新改良し來りて新年度を迎へ得ば內外の空氣人心を新にする鮮少ならざるべくと同時に新計畫に對し錦上更に花を添ふるものあるを覺わしむるや必せり至囑々々

朝鮮馬、
(二)朝鮮調馬法

◇時期 朝鮮馬の調教開始時期は乘、輓、駄等の用途に依り何等の區別なく體格の大小發育の良否に依り早きは二歲より遲きは三歲に至りて調教を始む

◇器具 調教用器具としては特別に製せられたるものなく從つて乘、輓、駄用等に區別せられたる器具なく普通用ひらるゝは鞍下毛布、鞍及び其附屬物、韁、引綱等に過ぎず

◇手段 乘馬、調教の最初は鞍置の練習なり先づ鞍下毛布を馬背に掛け數日間放置したる後目を掩うて鞍を置き調教者は手綱を口角に接して持ち數回速歩をなさしめ之を反覆し鞍裝脫の練習をなす後輕量なる荷物若くは鮮童を乘せ介者は手綱を持ちて並歩をなさしめ次いで速歩の練習をなさしむ斯の如くすること約一週間位にして大體騎乘の練習を了へ次に步法及び步度の調教をなす、此方法は左右側前後肢を各側別に前膝を飛節と一定の長さを有する繩を以て繋結し速歩せしむること每日二乃至三時間宛練習を爲し一週間位にて調教を終る

◇駄馬 駄馬の調教は前記乘馬調教に於ける步法及び法度の調教をなさざるのみにして其他に於ては異なるところなし、普通調教の結果に依り步度速かにして惡癖を生ぜざるものは乘馬となし其他は駄馬となすを例とせり

◇輓馬 土地に依り朝鮮馬を輓用に使役せざるものあり、平安南道の如きは其一例なるが礦石馬と稱し鑛物調製に礦石と稱する石造ロール（幅一尺四五寸直徑二尺二三寸）を輓くに使役せらるゝも其數多し之が調度には特別なる方法なく其都度直ちに使役するを例とせり

◆馬匹の勞力及使馭法◆

馬匹の勞働及び持久力 勞働時間に就いては季節により長短あり春秋は一日平均八時間夏期は十時間冬期は七時間を普通とせり持久力負擔力及び輓曳力は體格の良否大小により差ありと雖も體長三尺七寸位の中等大のものに付きては乘馬にありては負擔量及び輓曳量共に最大二十二貫最少十四貫位にして一日間持久力は最多十八貫最少六貫なるが更に繼續すべき持久力は最多十八貫最少十貫なり、又駄馬にありては負擔量及び輓曳量最大三十貫最少十五貫位にして一日間の持久力最多十貫最少五貫なり更に其繼續使用すべき持久力は最多十三貫最少六貫位なり

◇使馭法 使馭法としては記すべき事項なく唯乘馬は手綱及び韁を以て之れを馭し鞭を用ゆるもの少く拍車を用ゆるが如きことなし駄馬は手綱を牽き又は後より鞭を以て追ふ位に過ぎず

◎酒と朝鮮
忠南第一部長 井上清氏談

問題の造酒制限と舊幕府の處置
內年には造酒を制限して翌年には反對に奬勵した
朝鮮は寧ろ奬勵する必要あり

內地に於る清酒

內地では米の不足を補充する意から造酒制限と云ふ問題が八ケ間敷くなつて來ましたが丁度自分は先般內地に出張して西の宮とか伏見で清酒製造の狀況を見て來たから內地の清酒に就て少しく御話致しましよう

內地の清酒製造高は九月から翌年の八月迄を酒造年度として居ますが大正六酒造年度から既往五箇年度に於ける石數製造高を見ますると大正二年度は四百卅一萬一千石、大正三年は三百七十七萬四千石、大正四年度は三百九十八萬石、大正五年度は四百七十一萬八千石、大正六年度は五百十八萬三千石であります

大正六年に至り五百萬石を突破したることは驚くべき盛況である更に各府縣に就いて見ることは左の如くである

造石高の第一位は兵庫縣で七十四萬三千石、第二位は福岡縣で二十九萬一千石、第三位は廣島縣の二十三萬八千石、第四位は京都府の十九萬三千石、第五位は長野縣の十七萬七千石、其の他十萬石以上の造石高を示して居るものを揭ぐれば岡山、北海道、愛知、新潟、愛媛、福島、山形、秋田、大阪、大分、茨城、埼玉の諸府縣で、一番造石の少ないのは鹿兒島の三千七百石で、東京府は僅か一萬八千石である

從つて酒造制限が實現せられたならば以上に擧げた造石高の多い府縣が最も打擊を受ける譯であるが更に之等の地方の酒造米は何れの地方から仰いで居るかを調べて見たならば

面白い結果が得

られやうかと思ふ又清酒の輸出高は大正六年には三萬七千三百石ばかりで麥酒が八萬六千八百石程で其の輸出先は清酒は支那、關東州、北米合衆國、布哇、加奈陀に輸出高の大部分を占め之に反し麥酒の方は英領印度、同海峽植民地、蘭領印度支那が輸出高の大部分を占めて居ると云ふから之に依て見ると清酒は海外に於ても日本人が消費者の大部分であることが判るし輸出高は造石高に比すれば極めて少量である點から見て清酒は殆んど日本內地で消費せらるるのである然も其の清酒は

日本人の必須食料

である米から釀造せらるるものであるから米の不足と云ふ問題が起れば必ずや酒造制限と云ふ聲が高くなつても來、又節酒とか禁酒とか云ふ樣なことも起つて來なければならない譯になる酒造制限と云ふことは德川時代には度々行はれて居る寬永十九年に『酒之儀江戶、京、大阪、奈良、堺其の外名酒の分又は諸國より往還の道筋所々城地市の立候處人居多所町へは去年の半分當年は可作之併新規の酒屋は勿論可停止於在々所々の商賣酒一切不可造之』と嚴命したのが釀酒制限の初めで其の後明治の初めに至る迄二百卌四年の間に凡そ三分一造り三分二造りとか半高造りと云ふ樣に

釀酒制限が行はれ

たのである其の理由は重に米穀の消耗を虞れ又は物價の平準を失するを憂ひし爲である樣だ故に凶年には必ず釀酒制限の令が布かれて居る天保九年九月の令に

『諸國酒造之儀當方豐凶も難見居ニ候に付先昨年の通三分一造の積被ニ居置候得共追造作打續の儀若凶荒に至り候ては眼前御民の食料を減候姿に付古米を以て新酒造込候儀は一切可爲無用』とある如く又享和二年八月の令に『當年出水の國々多米直段引立候に付此上段々高直に相成候ては末々之者可致難儀一所相聞候間追而及沙汰候迄者天明八年酒造米高之內半高酒造可致候』とあるが如き其一例である

豐年には反對に

勝手造と稱して釀造を奬勵し之に依りて米價を引上げようと試たことがある寬政元年八月の令に

『米穀神田不自由の場所にて豐作の節不拂にて下々及難儀候節は造酒米高の厩を以て米直段高下も致候由相聞候以來豐饒の年柄減造にて難儀之節も有之候は其の段被申出所業國の上造酒可申付候』

とか文化三年九月の令に

『近來米穀高直にて世上一同難儀之趣相聞不由候米穀澤山の時節に付諸國酒造之共は不及申中休株の者共其外是迄渡世に不在者でも勝手次第酒造渡世可致候勿論酒造高是迄の高に不拘仕入相に稼可申候』

と云へる如きは其例である此の外風紀の紊亂を致すことを恐れて釀酒の制限を爲したこともあるし又

十分一米と稱して

米を差出さしたこともある即ち享和二年の令に

『人命に拘はり候米穀を潰候儀畢竟は無益の儀に付出酒造米高の內十分一役米可差出候其高に應じ諸國諸民御手當筋に可被宛行候』

とあるが如き其れである斯の如く德川時代には酒造と米とは結び付けられて考へられ屢々減釀の制度を實施し或は之を解除し之が爲に酒造は一進一退明治に至つた譯であるが此の際の制限に就ては仔細に研究を遂げたならば一是一非頗る警戒に價するものがありはしないかと思ふ

朝鮮に於ける清酒

朝鮮の清酒釀造の狀況はどうかと云ふに大正三年には二萬七千六百石大正四年には二萬九千五百石、大正五年には三萬三千六百石、大正六年には四萬三千五百石と云ふ風に年々增加して居るが之に反し內地からの移入高は大正二年には二萬八千七百石であつたのが年々減少し大正六年には二萬四千四百石で大正二年に比すれば四千三百石減少して居る輸出の高も年々增加して居るから

朝鮮釀酒界の爲

には喜ぶべき現象である然も一面朝鮮酒たる濁酒、藥酒の造石高が八十萬石以上に上つて居るから少くとも之を清酒に改良して行くの必要もあるからして內地では酒造制限と云ふ聲が高いが朝鮮は清酒は

まだ〳〵大に奬勵

して差支なからうと思ふ故に朝鮮に於ける釀酒家は杜氏を精選し米の選擇に意を用ゐ品質の改良造石高の增加販路の擴張に一層努力せられんことを希望するのである（公州）

◎浦項と電氣
◆本月中に認可申請◆

最近浦項は內地人戶數約四百五十人口二千に達し漁獲に因つて盛ふのみならず米穀貿易も比年多大の進境を示し昨今市街益々殷賑を呈しつゝあり加ふるに輕鐵の開通せらるゝありて愈々機運熟し殖て官民間に計畫せられつゝありたる浦項電氣株式會社の設立問題は大邱小倉武之助氏と提携して近く實行せらるゝ事となりたり尙社資本金は十萬圓、名稱は浦項電氣株式會社、營業課目、點燈及び動力供給、製氷等なり、發起人は浦項側中谷竹三郎、大上留造、福島伊平、田中貢氏外內鮮人を合して九名、大邱小倉武之助氏合計十名なり、發起人は目下目論見書定欵等の作製中なり、本月中には認可申請書を提出する筈尙ほ會社創立後は少くとも一千燈の需用ある見込なりと（大邱）

◎朝鮮に適せる牧羊業（上）
勸業模範場長農學博士 本田幸介氏談

歐洲戰亂勃發以來世界各國に於ける生産物の需給の狀態は最も明確に最も赤裸々に暴露せらるゝに至れり。此の時に際し我帝國に於ける生産物需給の狀態を見るに、我より他に供給し得るもの甚だ稀にして他に需めざるべからざるもの甚だ少からず。之が爲め某等物資の缺乏は其の價格の騰貴を來し國民の生活と産業とに對し時に或は不安の狀況を誘致せることなき能はず是れ國家の生存上憂慮に耐へざる所なりと云はざるべからず殊に

國民の生活と産業

とに對し最も重大の關係ある鐵、棉花及び羊毛に於ては吾人に切に其の感を深うせざるを得ず、此の三者の需給の問題は單に戰時の事に止まらずして平和克復後に於ても尙重大なる關係を有す。故に予は今此の三者の一なる羊毛に關し少しく鄙見を述べんとす。試みに本邦に於ける羊毛及び羊毛加工品の輸入額を見るに羊毛、毛織絲、羅紗其の他を合して年々三千萬圓乃至四千萬圓に達し其の量決して尠しと云ふべからず

若し夫れ戰爭又は

其の他の國際關係上羊毛類の輸入一たび杜絕するが如きことあらんか忽ちにして一般の需要に對して其の供給の途を失ふのみならず、我が軍隊及び戰外作業に從事する鐵道從業員の如き郵便電信に關する作業員の如きに對し其の最も必要とする被服供給の途は閉塞せらるゝに至るべし。故に常に他より安價にして而かも良質なる是等の原料を容易に需め得べき途なき限りは國內に於いて之を豐富に生産し以て國家緊急の時に際し之が爲め他の制肘を受くるの虞を避くるの方法を講ぜざる可からず。是れ我が政府が

前年度の議會に

於て牧羊の[illegible]に關する[illegible]經費を計上し議會の協贊を經て一定の方針の下に着々其の步武を進めつゝある所以にして我が朝鮮に於ても之に就き相當の施設あるべきを聞く寔に當然の事なりと信ず。されば予は此の際朝鮮の牧羊に就き聊か所懷を陳し世人の參考に資せんとす

◎製紙業盛ならんとす
◆大規模の製紙場計畫◆

慶州地方は舊來朝鮮紙の生産地として知られたるが尙北部にては改良製紙授産場を設立して製造の改良に努め一面製紙組合を組織して産額の增加を計りしが近時著しく改良せられ組合員二千餘名産額一箇年廿萬圓に上り取引先等も支那北部より滿洲附近に及び需要益々多く爲に昨今の如きは製紙材料不足し內地より移入せられし程なるが郡廳にては楮の栽培を奬勵し本年も相當に植付られたるを以て本年は移入等はなかるべし目下內地人間に大製紙場建設の計畫ありと尙製紙授産所は練習生十名を收容し一ヶ年の期間にて練習せしめ居れるが結果良好にして修業せし者の中にて歸鄕後日本紙の製造をさへなす者あり唯練習生全部が相當の資力ありと云ふにあらざれば歸鄕後全部製紙業を開始すると云ふに至らざるは遺憾なりと（大邱）

◎金本位銀行
◆長春支那人の新計畫◆

長春信託取引所にては曩に金銀併用制を執り爾來該方針の下に着々事業を經營し居れるが更に最近其筋への美報によれば同地在住支那人のみにて資本百萬金本位の銀行を創立すべく計畫着々進捗しつゝあるを以て近々成立を見るに至るべしと叙上銀行の設立計畫は滿洲に於ける支那人として最初の試みなれば其開業後の成績如何は將來に及ぼす影響頗る重大なるものあれば是が經營後援の意味に於て更に銀行は善の努力をなすべき決心なりと因に尙ほ本線沿線兩三箇所にも此の如き計畫あれば漸次目的を遂ふて實現を見るに至らん

◎鷄口瘡

咸北會寧面三洞永澤爲吉飼育の牡牛が去十三日流行性鷄口瘡に罹りたる以來猛烈なる勢ひを以て傳播し廿日迄に會寧のみにて七十三頭を出し其他郡內各面及對岸間島領の罹病牛を合算すれば數百頭に上り尙ほ蔓延の兆あるより當局にては極力防疫に努め居れり而して之れが爲め白豆薪炭等の運搬に從事せる牛車は其の傳染を怖れて忽ち姿を沒せるより運搬上多大の支障を來すに至り殊に薪炭の如き甚だしき缺乏を來し一牛車三圓五十錢以上を唱ふるに至り市民は大打擊を來せり（淸津）

◎慶北の採炭會社

尙北道長者採炭を目的として設立さるべき日鮮鑛業株式會社（資本金百五十萬圓）は發起人母國資本家に於て株式

◎間島移住鮮人所持金と道別
最低一戶平均四十七圓
最高一戶平均五百九十八圓

大正七年會寧を經て間島へ移住したる鮮人の總數は左の如くである

戶數 二、五五七 人員 一二、二二六

是れが携帶所持金と一戶の平均は

所持金總額 四三〇、四四四 一戶平均 一八二四六〇

尙ほ之れを道別にすることは左の如くである但圓以下四捨五入

(道)	戶數	所持金	一戶平均
咸北	一二五七	二八二二四九	二二四
咸南	三三九	四九四九	一三三
江原	一三三	六二二三三	四[illegible]
平北	三三	一二三六三	三七二
黃海	一〇九	八九六七	八二
慶北	九六	五七五〇	六〇
慶南	一〇	一二五四	一二五
京畿	四〇	一一五五八	二八九
全北	一六	二〇八二	一一〇
全南	一〇	一六〇五	一六一
忠北	三一	一九一九	六二
忠南	一二	七〇三五	五九五

近年間島移住鮮人の素質向上しつゝあるは注目に値すべく曾ては間島移住鮮人と言へば支那人の小作人となり悲慘なる生活を營みしものが昨今の推移と共に漸次に變化し向上し此等鮮人の間島に入るや自耕地を求め小作を爲すは稀なりと（會寧）

◎ごうちやろ會（釜山） 釜山の筑前人を以て組織せらるゝドウヂヤロ會は來る二十八日午後六時より會合して懇親を溫めお國自慢を發揮し筑前琵琶其他の餘興あるべしと云ふ

◎鑛業會玉臺新設 朝鮮鑛業會にては南米倉町に事務所を移轉擴張すると共に玉臺の設備をも爲し會員及び會員の紹介ある者の使用に宛て尙販賣店をも設備せり

三寒四温

零下三十度に近き酷寒の哈爾賓では一寸外出しても吐く息が凍つて內々刺す樣な寒さであるが其さなかに於て支那人が金魚を賣りに來るといふ誰しも噓だらうと思ふが、決して噓ではない▲金魚を寄つて步く支那人は鋼鐵へ炭を起して其銅壺を金魚鉢の中へ入れて凍結を防いでゐる▲金魚が一尾ごく小さなのでも二十留より安いのはない▲二十留といへば四圓位である、高いのは其上幾らでもあることの▲何處にも炭が高いので困つてる所へ八貫俵が一十錢で買へる所があるといふ是も亦噓かと思ふだらうが、全く有る▲それは安奉線の草河口から通遠堡邊のことであるが、なぜ左んなに安いかといふに舊正月前で賣急いでゐる所へ、貨車が廻らないために自然相場が崩れたのであるが、扨て之が貨車の廻りが好くなりさへすれば再び元の通り高くなるのであるといふ

感冒を治し解熱及鎭痛の効驗顯著なる
◎ミツワ解熱錠

適應症候 感冒、急性及び慢性關節レウマチス、筋肉レウマチス、頭痛、種々の神經痛、流行性感冒、以上諸病に因る發熱及び疼痛、俗に謂ふ血の道、經痛

感冒の爲に熱が出て頭が重く、鼻汁が多く出たり、咽頭が痛んだりするとき、又レウマチスに罹つて、關節なり筋肉なりが腫て痛み、動かすことの出來ぬやうなとき、又顏面や肋間其の他の神經痛に惱まされるときなどには、ミツワ解熱錠を用ふるに限る。本劑は解熱劑として卓効あるフエナセチンと、ミツワ化學研究所で內藤藥學士の研究に成つた特製のアセチールサリチール酸とを主藥としたもので、感冒やレウマチス又流行性感冒等の熱を解くのは勿論のこと、尙レウマチスや神經痛の疼痛を鎭める、而して他の多くの解熱藥と異なり、胃を害ふことがないから、食氣を減らし惡心や嘔吐を起すこともなく、身體を弱らせることもなく、而も奏効の確實な良劑で、類似藥を遙に凌いで居るのである。

三十錠入金貳拾五錢 百錠入金七拾錢 三百錠入金貳圓

目下全世界に猛威を振ひつゝある 流行性感冒の症候及療法

突然惡寒がして熱が出て、三十八度乃至四十度に昇り、腰から背又四肢が痛み、又頭痛がして身體が非常に疲れて倦怠く、食慾が減り、大抵は鼻加答兒、咽喉加答兒、氣管支加答兒を起して、鼻液が出たり、咽喉が痛んだり、咳嗽が出たりするが、時には眠れないとか、神經が痛むとか神經的の症候を呈し、時には嘔吐や下痢又便秘の如き胃腸の症候を現はすことがある。これは虛弱な人や老人に對しては甚だ重い病で、全身の衰弱を來たし、又元來他に病のある人が之に罹ると、頗る危險な影響を受けるが、強壯な人に在つても、本病の後に彼の恐るべき肺結核を起すことが屢あるから周到な注意を怠つてはならぬのである。本病を治すには、先づ室內の空氣を清く溫かく且餘り乾かぬやうに注意して、早く褥に就て居て身體を溫かにし、溫かな物を飲食して、汗を出すことに努め、食餌は消化を害はぬやう淡泊として而も滋養分のある物を撰び、處方公開のミツワ解熱錠を服み、咳嗽や痰が出るなら、ミツワ鎭咳錠を用ふるに限る。それから熱の下つた後も、冷たい風や雨に當らぬやうにして、ミツワ規那葡萄酒、複方肝油ドロップスの如き滋養強壯料を用ふるのが至極適當である。尤も本病は幼兒に在つては頗る危險であるから、速かに醫師の診療を請はねばならぬ。

科學の基礎に立ち處方を公開せる ミツワ家庭藥の特長

賣藥は數多くあるが、ミツワ家庭藥は日本唯一の處方公開藥で、處方を公開して責任を明かにしてあるだけに、無論其の處方は醫學上並に藥學上の見地から定めた的確のもので、且其の原料の藥品は純良のものを選んであるから、醫師の治療を請ふ暇なき場合、或は常識で判斷される病症に用ひて、奏効確實で而も毫しも危險がなく、現代の知識階級の要求に應じ得る模範的家庭藥である。而して其の種類は日常起り易き病症に汎く應用されるやう數多く取揃へてある

ミツワ健胃錠	ミツワ眼疾洗滌液
ミツワ消化錠	ミツワ點眼液
ミツワ制酸錠	ミツワ鼻病液
ミツワ解毒錠	ミツワ含嗽錠
ミツワ緩下錠	ミツワ齒痛液
ミツワ止瀉錠	ミツワ鎭痛液
ミツワ驅蟲錠	ミツワ硼酸錠
ミツワ解熱錠	ミツワ撒布藥
ミツワ祛痰錠	ミツワ泥膏
ミツワ鎭咳錠	ミツワ殺蟲液
ミツワ結核錠	ミツワ養毛液
ミツワ人參錠	ミツワ齒痛膏
ミツワ複方人參錠	ミツワ凍瘡藥
ミツワ鎭靜錠	ミツワ制痒膏
ミツワ婦人湯藥	ミツワ痔疾藥
ミツワ婦人座藥	ミツワ腋臭藥
ミツワ治癬藥	ミツワ頑癬膏

咳嗽を止め痰を祛るに卓絕の効力ある
◎ミツワ鎭咳錠

適應症候 感冒、流行性感冒、喘息、百日咳、喉頭加答兒、氣管枝加答兒、肺結核、肋膜炎等總て呼吸器病の爲め咳嗽及び痰の出る場合。

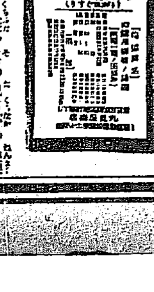
本劑はブノイミン、安息香酸、ブロームカムフル、ミルトール其の他數種の有效藥を調合したものである。それ故感冒や氣管枝加答兒に罹つて、氣管內に痒いやうな刺戟を發し、頻りに咳嗽が出て、痰も亦之に從つて盛んに出る場合、又肺結核や肋膜炎、喘息や百日咳、其の他樣々の呼吸器病に罹つて咳嗽や痰の出る場合にはミツワ鎭咳錠を服むに限る。本劑は煩はしい苦しい咳嗽を止め、痰の分泌を減らし、痰を喀出し易くし、呼氣や痰の臭氣を除く優秀な鎭咳祛痰劑である。

百錠入 金壹圓五拾錢

口中咽頭の諸症を治癒するに必要なる
◎ミツワ含嗽錠

適應症候 口內炎、口臭、口內熱、口內瘡、齒齦炎、咽頭疼痛、咽頭加答兒、齒痛、齒齦腫脹、扁桃腺炎、熱性病。

咽喉が紅く腫て嚥下が難しくなり、痒いやうな痛むやうな咽頭加答兒、齒齦が紅く腫れたり爛れたりして痛み、口中が臭くて腐けるやうに熱か口內炎、齒齦炎、又齒痛や熱のある病等には、ミツワ含嗽錠を溶かし、それで含嗽するに限る。又何の病は無くとも起床後、食後、臥床其の他折々本劑を用ひて含嗽するのは、口中一切の病のみでなく流行性感冒の如き口から病菌の入る者種々病の豫防となる。



百五十錠入 金參拾錢

發賣品目錄御申越次第送呈 ミツワ石鹼本舖 東京日本橋區橘町 丸見屋商店

豫報 …

商況

東京株式特電

廿七日後場 引値 前日比

	引値	前日比
東株	一六八、二〇	[illegible]
同新	一六二、二〇	[illegible]
郵船	一四〇、四〇	[illegible]
同新	九八、〇〇	[illegible]
商船	一八〇、八〇	[illegible]
同新	九九、七〇	[illegible]
鐘紡	二四四、四〇	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
東紡	二二六、一〇	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
日本石油	一四三、三〇	[illegible]
寶田石油	[illegible]	[illegible]
新、製糖	[illegible]	[illegible]
北海炭礦	[illegible]	[illegible]
第一新	一二〇、五〇	[illegible]
第二新	一三〇、〇〇	[illegible]
日石	一〇〇、〇〇	[illegible]
日清紡	一〇四、〇〇	[illegible]

東京現株中値

二十七日中値

東拓	七七、五〇
同新	[illegible]
朝鮮銀行	一六一、〇〇
同新	[illegible]
臺灣銀行	一四八、五〇
第一銀行	一一二、五〇
第二新株	七四、五〇
南滿製糖	二二、〇〇
朝鮮製糖	[illegible]
滿洲製粉	[illegible]
京城電氣	[illegible]
同新	五六、五〇
朝鮮瓦斯	一七、〇〇
商船	二四、〇〇
同新	一四七、五〇
郵船	九七、〇〇
同新	一八七、五〇
鐘紡	九〇、五〇
同新	二四五、〇〇
東株	二三六、〇〇
同新	一八二、〇〇
兩潮	一六三、〇〇
寶田石油	[illegible]
横濱取引	[illegible]

東京期米特電

二十八日前場 當限 三十九圓〇一錢 中限 三十八圓二十三錢 先限寄付 三十八圓〇八錢 日後場 廿七日前場 三八、六〇

大阪株式特電

二十七日後場

宇治川水	[illegible]
東洋紡績	一六八、〇〇
大阪電燈	[illegible]
同新	一四〇、一〇
合同紡績	一四五、九〇
攝津紡績	一三七、五〇
同上新株	一二八、一〇
東洋紡績	二〇八、〇〇
大阪商船	一〇九、九〇
同上新株	九八、〇〇
鐘紡株	一八八、〇〇
同上新株	一八八、八〇
京島米穀	[illegible]
同新	[illegible]
東京株式	[illegible]
大阪株式	一九六、八〇
同新株	一六六、一〇
日糖	[illegible]
滿鐵新	[illegible]

大阪三品特電

二十八日前場 一月限 三七四、九〇 六月限 三二七、七〇

大阪期米特電

二十八日前場 當限 三十九圓四十一錢 中限 三十八圓八十二錢 廿七日後場 廿八日前場 寄付 三八、七〇 高值 三八、七〇 安值 三八、二九 止め 三八、二九

兵庫期米特電

廿七日後場 廿八日前場 寄付 三八、二九 高值 三八、二九 安值 三七、七九 止め 三七、七九

雜報

●綿糸布小甘し

今前場の大阪三品は米綿七十五錢安にて當限三百七十四圓九十錢先限も十七圓七十錢綿布三銘は七九物の十四圓八十錢入値なり

●洋紙は區々

洋紙は休戰後南洋印度方面の新規輸出商談途絶なるのみならず既約さへ破約されしもの少なからざる上各製紙會社は戰後生産力の膨脹にて漸く製品過剩

品の之が抱擁

今日に於ては資金充足の[illegible]

四十二錢を潜る協定價格

[illegible]

下落せる早晩諸品

[illegible]

●小豆大騰

小豆は品薄と他品に比し割安の關係等にて依然買氣旺盛[illegible]

五圓据物二三圓上物四方の暴騰

[illegible]

●支那粟引締

支那粟は歴罪の引き締めにて現物は海上[illegible]

三十錢方の昂騰を示し又々約

[illegible]

●期近の先物

[illegible]

●染料底堅し

[illegible]

輸入は絕對に望み

[illegible]

幾分の引返し

[illegible]

●關東麥市況

[illegible]

麥安

[illegible]

下關相場

▲朝鮮米は弛ます 白米六百五十俵入荷ありて依然閑散

各地商況

◎大邱米況 二十七日 ▲玄米(強硬) 休日中賣買雙方共に氣乘りなく至極閑散に經過したり[illegible]

仲買店

仁川米豆取引所仲買人 電話二六二番

釜山米市場(正) 二十八日

[illegible]

京城正米市場

頃來の正米[illegible]

籾の騰貴著し

[illegible]

方下落、三等神力三十八圓十錢所

[illegible]

三四十錢

[illegible]

生魚市場

京城日丸市場 本日は殊に入荷少なく相變らず[illegible]

仁川期米

二十八日前場 下放(底堅し)

先二十六圓二十錢と二十八錢寄付

[illegible]

市場雜觀

[illegible]

總買に鮮人筋の正米師

[illegible]

活動開始

[illegible]

二十五錢と下押

[illegible]

●氣〇五錢を追撃

[illegible]

◎店の優勢買

[illegible]

筋の買物は無盡藏に有力

[illegible]

此の勝敗は如何

[illegible]

仁川米豆取引所 廿八日の三月限

[illegible]

北濱たより

一般財界に未だ不安定のあるは[illegible]

▲大阪商船株

[illegible]

期米賣買の委託を歡迎す 仁川米豆取引所仲買人 田中金兵衛商店 仁川海岸町 電話長

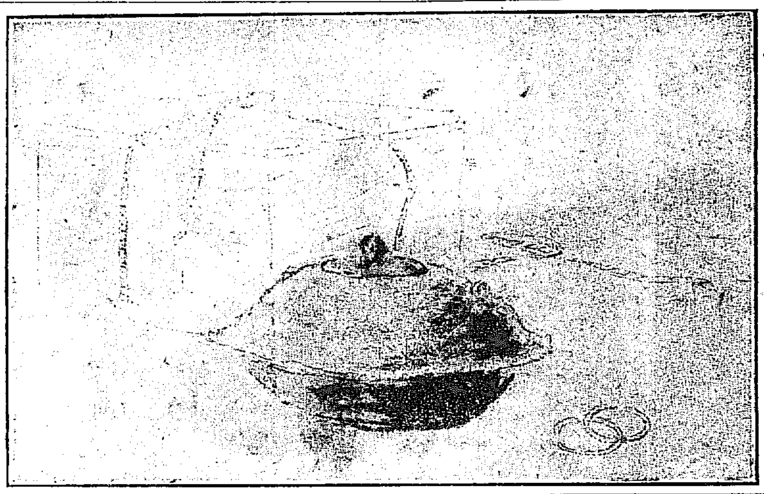
期米賣買の委託を歡迎す 仁川米豆取引所仲買人 唐澤正次郎 仁川海岸町三丁目 電話長六五七番

倉 仁川米豆取引所仲買人 [illegible] 電話 六三三

齋藤榮之助 仁川米豆取引所仲買人 仁川港町

毛谷村六助 卅六番角力

百二十八席 桃川桂玉口演 浪上義三郎速記



石川五右衛門は忍術を以て千利休の邸へ忍び込み東雲の釜を盗んで參り、其の釜で湯を沸かし茶を立てゝ樂みましたが素より茶を喫でしまへば用も無い品故取り出して置いた、五右衛門は相變らず如軒の許へ參り 五『ハイ今日は』女『オヤ先生入らつしやいまし』五『先生はお宅かね』女『夫は急の用事がございまして大の師匠利休の處へ參りました』五『何か急用があつてか』女『まア先生お聞き下さい、師匠利休が殿下よりお預かり申して居りました東雲と云ふ釜が紛失をいたしましたので、次第によると切腹にもなると云ふ處で、如軒に

込んで歸つて來て寢てしまふ、此方はお話變つて千利休、三百石と云ふ手返し料を頂戴して東雲の預かり申して居ります故、毎朝起きると床の間に飾つてある釜を拜しますが、是は然うありさうなことで、毎時の通り早く起て嗽手水をいたし、釜を拜さうと床の間へ來て見ると、釜は仆れて蓋は向ふの方に投り出してある、第一中の釜が無い、サア利休は青くなつて此の事をお屆をすれば、秀吉公は荒氣の大將故屹度手討ちにすると云ふに違ひない、其故利休は殘らず家内中を探して見た處が、愈々無いと極つた、神棚には目貼をいたし

ませんか 利『馬鹿を申せ、三度も五度も探して愈々無いと極つた釜があらう筈は無い』〇『イエ然うでございません、床の間の前に屛風を立てゝ居ります』利『何』と利休が指圖をして屛風を取除けて床の間の前を見ると釜があつた 利『イヤ成る程、是は釜だ、何うして此處へ出たのであらう、何は兎もあれ釜が出れば結構だ、誰だ神棚へ目貼をしたのは、豈川だと云ふに戸を閉めて置く奴があるか、何しろ神棚へは燈明を供へ戸を開けて座敷の掃除をしろ』と利休は雀躍りして喜んで居ります、其晩になると釜が出て芽出度いと云ふので、料理と酒を取寄せ、心配をかけた故大阪樓を傭ふ、々皆に髪を四五人聘んで酒宴をいたしたが、嬉しさの餘り利休は坊主頭へ鉢巻をして肌脱ぎになつて踊つて居りました。

來て呉れいと云ふ使が參りましたゆゑ取急いで出て參りました 女『アレまア心配なことだな、夫れは何ぞ御用で』五『承知いたしました、精々探ねて見ませう』五『大變な事になつた』〇『何で御座います、五右衛門は急いで家に歸つて參り五『利休の處から釜を盗んで來た處、それが爲めに大層迷惑をした〇』五『何うしました』五『此の釜を返して來よう』〇『何が持つて行きませう』五『イヤ俺が持つて行く』五右衛門は其の釜を提げて表へ飛出したが、利休の家へ投り込んで歸つて來る、拠う申上げると隣の家へでも行くやうだが京都より大阪までは十三里ある、けれど忍術者の事とて雜作は無い、投り

雨戸を閉めさせ、野風の内へ床を取らせて中へ入れ、親類や門弟の處、それぞれ人を出して宋の目を利休に呻吟つて居る、門弟は心配をして『〇先生、お醫師を呼びませうか』利『身體から發した病氣なら知らず、求めた病だ薬を服んでも仕方が無い、釜が出さへすれば癒るのだが、出ない内は癒らない、ウーン〳〵』と呻吟て居る、親類や弟子達が集まつて何うしたものかと心配をして居る、是故に森如軒も此處へ來たのでございます、スルと申上げた通り五右衛門が氣の毒と思つて釜を投り込んでくれました故、床の間の前の處に釜〇顚仆つて居た、門弟は是を見て〇『先生、釜はあるではございま

牛乳 御用

滋養强壯病者ノ牛乳 岡野牧場 京城東四軒町 電話一〇六九番

◎四平街通信 (二十五日發)

▼滿鐵新年宴 例年滿鐵四平街の名の下に官民の重なる人士を招待して新年宴を開かしむるが本年も亦本日午後六時より料亭公園に於て川中所長滿鐵を代表して一場の挨拶を試み來賓總代として藤中警備長に祝辭を述べて一同杯を擧げて健康を祝し夫より餘興に移り此の四平街の紅裙連よく賑旋の勢を揚げ盛會を極めたるが主客五十餘名にて十二分の歡を盡して散會せり

▼參謀長去來 都督參謀長濱面少將は守備隊巡視の途にありしが二十六日八時城より楡中旅館に入り當地在民の重立ちたる人士を招待し喚談を共にし意見の交換を試みる由

一月廿九日

水曜日(舊十二月廿八日)(かのとみ)(先負)◆白鳥◆紫

▼九紫▲損德なしの日萬事は吉也

▼一白▲思ひ通り過ぎして損の行く日

▼二黑▲福の舞ひ込む樣な日にて

▼三碧▲花やかなる賑やかな日に

起工、移轉、棟上、旅行、婚禮等一切吉由

▼四綠▲何か嬉しきことあるやう

▼五黄▲仕事の上にも乃至何事に恐らく此日は終日愉快なるべし

▼六白▲兎もすると横槍の來る日なり

▼七赤▲短氣を慎むべき日

▼八白▲頭々拍子に物の運ぶ日なり或は意外の利益あるやも知れず

人參三味

京城本町壹町目 電話一四八八番 一八七〇〇番 ツ 津村兄弟商會

演藝案内

壽館

本町二丁目 電話一〇五〇

一月三十日より 法恩山甲子師披露演奏會 旭扇雲京城支部 [illegible]

有樂館

二十一日より公開 [illegible] 寶冠ニバーサル週報六十四回 [illegible] 人情劇深夜 全二卷 [illegible] 幽靈船 [illegible] 恐怖の影 全五卷 [illegible]

大正館

黄金町 電話八七三 [illegible] 司令官 全五卷 [illegible] チャプリン酩酊 全二卷 [illegible] 竹中半兵衛 全四卷 [illegible]

文樂座

本町五丁目 電話一三三八 [illegible]

浪花館

京城明治町 電話二六〇 [illegible]

壽座

[illegible] 電話九七八 [illegible]

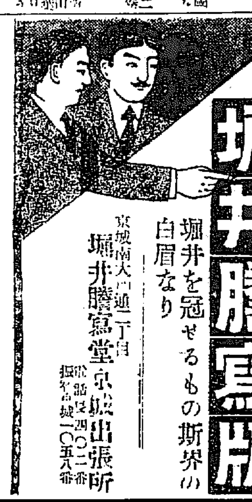
黄金館

電話二二六六 [illegible] 假名手本忠臣藏 [illegible]

質 新規開業 倉庫完全 京城若草町(金非眼科病院裏) 三十八番地(池上病院前) 麻生質店

寫眞 京口寫眞製版部 [illegible]

内外科 小兒科 花柳病 院長 高井貞治 副院長 松崎正彦 京城本町二丁目(電話二一六番) 診察自午前九時至午後九時 高井醫院



堀井膳寫版 堀井を冠ぜるもの斯界の白眉なり 京城南大門通一丁目 堀井膳寫堂京城出張所 電話二一〇四 振替京城一〇五八番

内科 胃腸病 診察夜九時迄 京城本町一丁目 石川醫院 電話二一七〇 二九番

宮崎式ペーチカの能力並に功果に付ては昨年新設の榮を得ました東洋拓殖會社、大同生命保險會社殿、鮮滿工業社殿、古城梅溪殿、清水組殿等の方々から尠なからざる御賞讃を得て居ります 本年新に御建築をなさる御方々や建築設計等に御從事の方々が御設計の中に必ずペーチカを御忘れのない樣に切望致します 耐火煉瓦、煉炭特約販賣 ペーチカ築設 京城府漢江通八番地 宮崎組 電話龍山五四一・振替京城五四〇九

資本金壹千萬圓 頭取 安田善三郎 株式會社 百三十銀行京城支店 京城本町壹丁目 電話 五八番 振替貯金京城一九一三四番 銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候 爲換取組先は内地各方面並朝鮮樞要の地に有

大阪商船出帆

(仁川出帆)
群山、大阪行 ×安東丸 一月廿八日 正午出
×木浦、大阪行 信濃川丸 二月一日 正午出
(元山出帆)
西湖津、新浦、城津、清津行 ●宮島丸 一月 日 後十二時
釜山、門司、宇品、神戸、大阪行 ●安平丸 一月 日 後九時出
(大連出帆)
上海、基隆、打狗行 ●北隆丸 一月卅一日 前六時出
●湖北丸 二月十四日 後六時出
内地各港出帆主要航路
歐洲行 毎月一回
米行 毎月一回
南洋行 毎月一回
[illegible]

日本郵船出帆

大連、秦皇島行 酒田丸 一月五日 正午出帆
淡路丸 二月十二日 正午出帆
都會丸 一月九日 正午出帆
[illegible] 仁川海岸町一丁目(電話十番) 堀河商會

朝鮮郵船出帆

[illegible]
▲敦賀行 [illegible]
平安丸 一月 日 頃 元山
▲浦汐行 [illegible]
平壤丸 一月 日 [illegible]
▲雄基行 [illegible]
忠清丸 一月 日 [illegible]
成鏡丸 一月 日 元山發
▲元山雄基線 [illegible]
興城丸 一月 日 元山發
▲大阪行 [illegible]
後丸 一月 日 釜山發
▲關門行 [illegible]
恭丸 一月 日 [illegible]
▲金剛山遊覽便 [illegible]
▲濟州島行 [illegible]
▲木浦麗水線 [illegible]
▲釜山麗水線 [illegible]
▲多島海行 [illegible]
▲木浦行 [illegible]
▲海州行 [illegible]
▲鎭南浦行 [illegible]
▲大連、青島行 [illegible]
本社 京城南大門通(電話長一九五二) [illegible]
釜山 [illegible] 元山 [illegible] 仁川 [illegible] 木浦 [illegible] 京城 [illegible]
其他各沿港地ニ荷客取扱店 電話長一一〇七

汽車時間

京釜線(南行) 同(北行) 京義線(北行) 同(南行) 京元線 [illegible]

京城日報 第五版

本紙定價 一部金參錢 ▲一箇月七十五錢 ▲三箇月金貳圓二十錢 ▲六箇月四圓四十錢 ▲一箇年八圓 ▲郵税別 ▲前金ニ非ザレバ發送セズ
廣告料金 五號十五字詰一行 ▲二號 ▲四號 ……
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之助
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號 編輯局 ▲營業部 ▲振替口座京城三〇〇番

國際聯盟と帝國の態度(下)

京城日報

吾人は此際に於いて最も意味ある電信を受領せり。曰く『去る十八日講和豫備會議の席上に於て佛國首相クレマンソー氏は、吾人は更に大幸福にして且つ善良なる人道的見地に背反するが如き利害の衝突を緩和する爲め、吾人自身公平なる自省を加ふるに於て、初めて此結果に到達することを得べし、講和會議の目的は世界の平和に在り、國際聯盟の運命は吾人の態度如何に在りと稱し、國際聯盟の必要なる旨を言明し、米國大統領ウイルソン氏、英國首相ロイド・ジヨージ氏も亦從來既に本問題に關し所見を發表し居るに對し、五大國の一員たる我帝國委員は、何等本問題に對し其の所見を披瀝せざるを以て、日本は國際聯盟に對し何等の意見及び案を有せざるが如く思惟するものあるも、五大國打合會議に於ても、英米佛の三國共に國際聯盟に對する具體案を提示せざるを以て、我が帝國委員も亦之を提示せざる次第にて、事實に於ては、我が講和委員の手に其提案を把握し居れりと信ずべき理由あり、我が政府の意嚮は、本問題の如き國家興廢に關する重大問題は、慎重の態度を以て臨む必要あると共に、英米佛等に率先して首唱すべきものにあらずと思惟しつゝあるが如く、他國の提出案を見たる上に於いて發表せんとするものゝ如くなるべし、從つて我が委員の最も憂慮する所は、國際聯盟の構成、就中其制裁の構成方法如何に在り、日本は英米佛等と人種を異にするを以て、先決問題として人種的平等を要求する意味に於いて、國際裁判所の如きものを設置さるゝ場合、若し該委員中に我が帝國委員の參加せざるが如き事あらんか、我國民としては極力之に反對し、或は之に加盟することを拒絶するに至るべし、既に米國は海洋の自由問題に就ては、米佛の善良なる了解を得たるを以て、國際聯盟案に就ては米佛の主張を尊重することゝなり居り、我が帝國亦種々の意味に於て英國と共鳴する點多きものあるを以て、講和會議に於ても、大體英國に倣ふこと多かるべしとするも、國際聯盟問題に就ては全然獨立の見地に立ち行動する決心なり』と云々。吾人は此の報道の果して政府筋より出でたるものなりや、はた一片の揣摩臆測に出でたるものなりやを詳かにする能はずと雖も、條理より推すときは、當然かくあらざるべからざるを信ぜんと欲す。帝國が國際聯盟加入の先決條件たるものは、言ふまでもなく人種的差別待遇の撤廢、即ち從來米國加奈陀濠洲等に於ける不法非理の法律を廢止し、全世界に於て交通居住營業の自由を要求するに在り。此の問題は實に帝國將來の生存に關する重大なるものにして、萬一此の問題にして依然解決せらるゝなく、之と共に國際聯盟に因りて種々の制限を受けざるべからざる如きあらば、是れ實に權利なき義務のみを課せらるゝものにして、吾人の實に堪ふる所にあらず。然るに最近濠洲より來れる報に依れば、首相ヒユース氏の如きは、公々然として移民公開に反對し、又日本の獨領諸島の領有を以て、濠洲の危險なりとし、之に反對することを揚言しつゝありといへり、勿論これは濠洲首相の一己の所存に過ぎずと雖も、英本國政府の意思とは見るべからず、然れども、講和會議に於ける日本の地位の困難なる想像するに難からず。知らず日本國民は、かゝる假說、かゝる我儘勝手なる要求に屈從する能はずとするや。問題らしく、我が特使西園寺侯は、其の出發に臨み、其の平素親交ある要路に一書を寄せ『若し僕にして仕遂げずば、更めて歎語せん』と申送られたりと。此の一語は、古稀の老翁が萬里の波濤を越えんとする寂しき想像を語るものとすべきか、はた君國のために一身を犧牲にせんとする大なる覺悟を語るものと解すべきか。吾人は獨り西園寺侯一人のみならず、其他の委員は勿論許多の從員、さては出張の新聞記者に至るまで、共に至大の責任を負荷せることを、各自に自覺しあるを疑はず。

南部烏蘇里施療狀況(二)

ノウキエフスコエには從來官廳より俸給を受くる公醫一名あり其の技術は頗る拙劣なりとの定評あり又看護長兼藥劑師たるもの一名あるも共に拙劣なりとの定評あり又第二革命後は其俸給すら支給を受けず、傍ら供給おや故に該公醫は傍ら診料を徵收し、或は往診料を徵して生活を持續しあるものゝ、昨年我施療機關の開始以來其の影響を受け、同時に公醫の感情を害せざらんことを慮り諸種の便宜を興へつゝあるが目下の處に於て各其の業務に服しつゝありノウキエフスコエ施療所は元同地衛戍病院の建物にして諸般の器具は同地衛戍司令官及び兵站管理者より進んで提供を受け醫療器械其の他の古品に至る迄も提供するの好況にあり、受診者の資格は公醫の許に適すべく極めて貧困者下層階級以上の者は公醫の許に受診せしむる方針を執りつゝあるも、鮮支人に限り中流以上なるも其の居住者は比較的多く、中流以上の者を顧慮し來るものは拒まざるも、而して斯くては公醫の業務を妨害せざる如く中央の懇篤なる援助によりて適當に折衝して一には地方露人を歸服せしめ他方には公醫の業務を妨害せざる如く圓滑に進捗しつゝあり患者の輻輳は益々多くして未だ

財界の新舊人(17)

西海生

足立瀧二郎君(上)

十八銀行取締役

朝鮮の銀行家中、君くらい永く朝鮮に住んでゐる者は恐らくあるまい、明治廿三年から大正八年までと云へば恰度滿三十箇年である、その十八銀行の仁川支店支配人より京城支店支配人となり、コツ〳〵として老ひの將に來るを知らざる如く努めて來た、朝鮮金融界の上に於ける功勞者を錄すれば君は正にその主なる一人であり、又金融史の一頁を飾るべき資格を十分有つてゐる

▲君は明治元年の五月長崎縣に生れてゐる、朝鮮に三十年もゐると云へば六十以上の人と思はれるが、まだ五十五の働き盛りである、少年時代から十八銀行に入り事實下級より一歩一歩階段を上るやうに地位を進めて來た、それで若い時から銀行幹部の信任は殊の外厚い方でなかつたらしい、と云ふのは君が仁川支店開設の任を帶び支店長として還に入りしは、明治廿三年の九月と云ふから、僅に二十六七の青年に過ぎぬ、君はその頃より老成の風あり、何うも早熟の人だつたと古く君を知つてゐる人は云つてゐる、然し何れにせよ、今日の如く交通機關は整備せず、朝鮮の事情は分らずどちらかと云へば危險の多い當時の朝鮮の一支店長として派遣されたのは、異數の援擢を受けたものと云つてよからう

▲仁川には支配人として四十四年三月まで勤めてゐた、乃ち前後二十箇年の血氣盛りを仁川に過ごした譯であるから、君が仁川を故郷よりも懐しく慕つてゐるは、人生の殆んど半ばを送つたと云ふ點よりも當然な譯である、君はその間一行家として財界に重きをなしたのみならず、一面民團や商業會所の公職を帶び、幾度か議長に選ばれた、君の議場の整理にすぐれた手腕を見せたのは議場の整理振りは實に族に於ける德川家達公式の妙手腕を有せりと云ふ人もある、悉に角て能力をして來てゐる―京城支店の支配人に轉じたのは日韓併合の翌年、その後古參行員として重役の位置に上り彼是れ九年を京城に生活してゐる

▲十八銀行は釜山にも、仁川にも、群山にも、元山にも、龍山にも店があるが、君が重役として京城にゐる、は、如何にも朝鮮總支配人の地位のやうに思へるが、事實はさうでないらしく、君の間處は受けぬさうだなさり、各支店は皆本店直屬の重役であるから、各店の店長が君に直役であるから、各店の店長が君に行務の相談をもちかけて來る事は素よりあらう、又然るべき注意を發する事もないではあるまい、唯職制上京城支店は京城の支店であつて、總支店でないとの事である

▲十八銀行の京城支店は、此の二三年目立つ、勉強振りを見せてゐる、活動と云ふよりは勉強の方であらう、質實に、堅確にヂリ〳〵地歩を進めつゝある、その采配を振る君の人物は如何、少しくその一面を覗つて見やう

混亂の露國

他力本願の露國民(一)

從軍記者 早川已之利

◇帝政時代の露國は世界を脅威した統計的資料な無かつた、鮮人科の核に悲い患者、婦人病、内科外科患者多く手術を要するもの亦多數にして就中鮮人に多數あり殊に齒科に屬するもの多きを以て近々該醫器械及藥品を追送することゝせり

しほどの軍國主義、侵略主義の府であつた。その汎スラブ主義は傳統的に國民の腦裡を支配して、國が世界の海城であるならば、國は世界の馬賊であるとまで評されてゐた。それが一朝にして崩壞すると、北頭士は四分五裂し、國民は救ひを聯合各國に求め、流れて北方の天地に亡脱してゐた、又頭の惡い地に落ちて、散々に蹂躙せられ、惡境に陷つた。兩端な侵略主義の代償として、何人も斯る最後の日の來ることを豫想しつゝあつたが、其の破壞の跡を見ると、轉たに亡國民の悲哀を感ぜずには居られない。

亡國民は總て、擬他的で、事大主義であることは説明するまでもないが、露國民は此點に於て一個の徹底をなしてゐる、亡國民性を發揮してゐる。之を例へば、過激派蜂起時代赤衛軍を及ぼ支援したものは二十數萬の獨逸俘虜であつた、現今に於ても歐露の過激派は獨逸捕虜將校が作戰をなし、赤衛軍に於ける獨墺俘虜の勢力も聽く。西伯利の帝政派、中產階級、其他の反過激派は元露西亞に捕虜たりし、チエツク、スラバツク軍に依つて救はれた、彼の聯合軍の出兵宣言を見ても、チエツク軍支援といふことに重きを置いてあるやうに、チエツク軍は常に露國を救濟すべき任務をなつて働いた。其後西伯利軍編成されるに及んで、チエツクの師團指揮官ロオフは、兩軍の司令官となり、露人少將ジドリツクは、チエツク軍の中將に推され、スイロオフの下で、參謀長となつてゐる。之れに對し始めの中こそ西伯利軍は唯々命を奉じて居たが、最近は露國軍の參謀に大幹部の頭を擡げ出し、エツク軍も露國救濟主たるが自得の功を嫌ふことを喜ばず、陰にチエツク軍を排斥運動を行ひつゝあるから、露國人の參謀長を戴くことを以て、最近に於て兩軍の間に溝が出來て、それが次第に大きくなつて行くやうに感ぜられて居る。

◇之れも元捕虜であつた、波蘭人が故國再建のため、スイロオフの指揮の下に、建國軍を編成し目下其一部隊はウラル方面で戰鬪に從事してゐるが、之こそ目的は民族自主義に依り、波蘭獨立國の腦料を獲得せんとするのであるから、多年波蘭の支配を受けてゐた、スラブ族としては到底斯くなり得ない筈である。而も國は滅び、自力を以てしては到底故國を復興せしめ得ない、露國人は之に軍隊に頼るしかない、其の援助を受けねばならない。しかし他力宗となる、國破れて山河あり、而も捕虜の前に頭の上らぬ露國人も亦、哀れむ可き點がある。

〔雜感抄〕

◇さうして貧乏したか◇之は京京の貧民窟に於ける現象なのであつた、十平は家族の病氣(四十四)と共に深川に落ちて調べてゐるが貧窮に陷つた原因は、何分北海道で、一寸した一同は腸三十七歲なのため一文も無い、代り居たものゝ十九の工人を合ひたるの死亡によるものゝ(十八)と實(十二)等家族二人の死亡によるもの(四)との二家族であつた

家庭雜誌

二月號 目次
◇戰後の物價と家庭 ……奧田竹松
◇明るい心の持主たれ ……安井哲子
◇柔順ばかりが婦德でない ……山脇玄
◇苦勞の經驗と主婦 ……田中さと子
◇小資本活用の利殖法 ……大久保伏一
◇家庭の暗雲と主婦 ……小島京子
◇生活改造と因襲打破 ……矢島楫子
◇子供の良癖と惡癖 ……岸邊福雄
▼母と成つて始めて感じた事……板倉すが子 ▼育兒に痩せる母親の苦心……山根きよ子 ▼自宅で物を作る經濟と興味……前田あき子 ▼乳の出る食物……▼家具寶石の保存法……
◇懸賞記事 友人から受けた感化(歸つた友(雅子)▼忘れぬ友(窮状)▼親に叱られた友(村雨)▼私の生活に限る
◇寒中のお產の用意 ……田中蝶子
◇痔疾の豫防と療法 ……丸山清一
◇主婦の讀みもの……お茶の飲み方……海苔の食方……
◇歴史小說 櫻の庭(第四回)……渡邊霞亭
◇小說 桃花帖(好評第一回)……佐藤紅綠
◇長篇小說 雲のゆくへ(鈴木)
◇東海道膝栗毛(作者一路)
▼童話 深山の木の娘……加藤つま子 ▼風流安價料理……▼衣類の保存法▼手袋の編み方 ▼婦人科小兒科問答▼家庭園藝其他數篇
改正定價十八錢 郵税一錢半 東京 株式會社博文館 振東二〇

タダデ鶏の 説明書本を差上げますから、至急ハガキで御申込み下さい(住所御記入)
利を擧げる時が迫りました、早く農閑を利用して秘訣を御勉強なさい
本邦創始 養鶏講義 鍛建放牧養鶏全書 五十銭本講義は斯道大家十三氏が各秘訣を公開し永久指導す 大日本養鶏會 東京日比谷前

最新刊
文學博士 東鄕平八郞閣下題辭 大隈重信閣下序文
芳賀矢一 先生編 世界大戰史 前編 陸軍大將松川敏胤閣下序文 海軍中將佐藤鐵太郎閣下序文 定價八圓 特價六圓 送料貳拾四錢
元帥伯爵 東郷平八郎 ……一八〇
文藝讀本 ……
家庭 ……
▲懷中 大觀 ……
實用 辭典 ……
現代國民作法精義 ……
日韓語法精典 ……
商業教科書 ……
ミユツセお伽噺 魔法の笛 八〇
三國一の花嫁は 奥野七〇
開拓精神の足跡 一、一〇
雪の日 久保田萬太郎 九五
同 ローマンス 流浪子 六〇
京城本町一丁目 大阪屋號 電話六八六番 振替京城二五七三番

小野玻璃器製造所 京城林町百六十二番地 電話七九一番
小野專門分工場 京城義州通一丁目 電話二〇三番
小野玻璃器販賣部 京城永樂町二丁目 電話一八七九番
洋燈各種 電氣瓦斯セード用品 理化學用器 標本壜 硝子器各種 食器 各色硝子器類一式

北海道產 鴨綠江產 雜木各種 荷着
洋家具材並に洋家具の調製に應ず 雜木各種 板類 製材販賣
朝鮮京城黃金町一丁目 本明雜木店 電話長三一七五番 振替京城九七三七番

寄ると觸ると『時雨唄』の噂
昨今若い御婦人方が御集りになると話題はきつと『時雨唄』です。主人公が特に實在の人物だと云ふので其れに對する同情が又素晴らしいものです……東京玄文社發行の新家庭二月號所載

醇良無双清酒
衛生無害品質無双
發賣元 京城府黃金町二丁目 首藤京城支店 電話一一七一番
釜山港幸町 首藤釜山支店 電話三四三番

木炭の半額であるが頗る經濟な 卵形無煙煉炭 生る
同煉炭は朝鮮無煙炭鑛株式會社が炭價調節の意味に於て新に製造せしものにして火鉢用炊事焜爐用として非常の好評あり太さ鶏卵二倍大にして無煙無臭火附よく十時間の持久力ありて價格は木炭に比し甚だ低廉なり
定價 一箱(九四百個入) 金壹圓貳拾錢
朝鮮無煙炭鑛株式會社京城特約販賣所 京城太平通二丁目 電話七二七番 西崎商會 南大門支店 電話四二〇七番

櫻岳藤戶計太著 最新朝鮮地理
總クロース金文字入八百五十頁 定價二圓
一本書ノ內容ガ如何ニ豐富ニシテ完備セルカハ之レヲ內外地理ノ大家ナル志賀重昂先生ノ序文ノ一節ニ君ハ實ニ帝國希觀ノ朝鮮通ニシテ此ノ書ハ實ニ帝國希觀ノ朝鮮地理書ナリトス帝國希觀ノ朝鮮通ニシテ帝國希觀ノ朝鮮地理書ヲ著ス予ガ最新朝鮮地理ノ名ニ眞意義ノ存スト云フモノ』ニ觀レバ又多言ヲ要セザルベシ
一特色―
一各學校ハ勿論、官廳各會社、教育家實業家ニハ缺グベカラザル良參考書ナリ
此際御下命に限り特に送料當方負擔に仕候但し代金引換小包を除く
發行所 合資會社 京城日報社代理部

▼汽罐機器賣却廣告▲
一中古ロコモチーブボイラ(移動式) 馬力三十汽壓二十 參臺
一中古水管式ボイラバイア 貳臺
一新品エンジン 橫置式(シリンダ貳ケ) 馬力十五 壹臺
一モーター(電力) 馬力 貳臺
一起重機 六噸、五噸 貳臺
其他旋盤、鉋臺、穿孔臺、鑽穿臺、洗濯機械(專賣特許)消火ポンプ、電氣ポンプ、郵便車輪等數十種類
右近日中到著に付御入用の向きは至急御照會被下度候 敬白
哈爾賓埠頭區 東亞貿易公司支店

東京 竹内ペント金庫 外觀の美と實質の堅牢 熊平支店

京屋染物店 吳服京染白生地販賣 合資組織 京城本町二丁目八六 電話長一四〇番 振替京城五一九九番

スクーコ平開
特等品 硫黃……〇・八パーセント 灰分……一二・〇パーセント
一等品 硫黃……一・二五パーセント 灰分……一七・〇〇パーセント
瓦煉火耐平開 耐熱度 三〇〇〇度 セ氏 一七〇〇度
開灤鑛務總局代理店 大連 西川光太郎商店 朝鮮代理店 榮洋行 京城本町二丁目 電話長四二七番

青星印 カーバイド 新荷到著
破格値段を以て販賣可仕候間精々御用命願上候
京城南大門通五丁目八番地 電話長一 酒木村商會

資本金壹千萬圓 年賦又は定期償還方法に依る勸業資金貸出の外一般商業金融業務を取扱申候
株式會社 朝鮮殖產銀行 京城南大門通二丁目 電話長六〇番 振替口座四〇九番 頭取 三島太郎
支店 開城、清州、忠州、公州、鳥致院、大田、論山、江景、裡里、群山、全州、井邑、金堤、南原、光州、木浦、麗水、晋州、統營、釜山、馬山、密陽、大邱、浦項、金泉、尙州、安東、海州、沙里院、平壤、鎭南浦、新義州、宣川、江界、春川、元山、咸興、北青、清津、鏡城、羅南 右の外內地朝鮮滿洲支那各地に當行取引先有之候

帝國遞信省御用 英國皇室特命御用 RUDGE-WHITWORTH LIMITED
絕世の信用と名聲を有する自轉車は
安心して乘れる精良無比の自轉車は
ラーヂ自轉車
◇有名なる自轉車店に販賣す◇京城南大門通三 日米商店京城支店

東京 … 大阪商船 … 日本郵船 …
同 一二〇、二〇 / 一〇〇、二〇 / 九〇、六〇

□梨本宮御差遣

李太王殿下國葬儀に御差遣あらせらるべき皇族は梨本宮同妃兩殿下なるべし(東京特電)

第四十回帝國議會

衆議院豫算總會(二十八日)

午前十時二十分開會

▲望月小太郎氏(政憲)は質問す我國の國際聯盟に對する意見は不統一にして且つ曖昧なり明答を望むと述ぶ之に對し

▲内田外相 不統一の事無し昨年米國大統領ウイルソン氏の爲せる宣言に對しても異議無しと答ふるや望月氏再び國際聯盟に關する要領を示され度しと請ひ外相は差支無き限り書面を以て示すべしと答ふ、望月氏は更に支那に對する我國の主動的位置を確保するには我國の公明正大なる態度を明かにし置く必要あり之に就き現内閣の政策を發表するの要無きや如何と言ふ内田外相は之れに就き支那に對する我國の疑惑に關しては屢々に爲したる予の對支聲明に依つて明かなりと答ふ望月氏は日支軍事協約は既に支那の英字新聞に發表され居れり此儘に放置かば醜聲を求められたる時如何に爲すべきやと問ふや外相右は秘密條約なれば公表する能はずと答ふ望月氏更に支那借款は軍閥

> □兩陛下御避寒
> 天皇皇后兩陛下には二十八日午前九時三十五分東京驛御發、御避寒の爲め葉山御用邸に行幸啓遊ばされたり(東京特電)

の爲めに使用され居れり不都合なりと認めずや、之に對し外相、現内閣は借款を打ち切りたり然れども經濟借款に就ては將來交渉に應ずる考へなりと受け流す望月氏は引續き對支借款に就き追窮すれば外相は借款に就ては藏相より答辯すべしと避けんとせしに望月氏は勝田前藏相の答辯を要求し續いて參戰借款は軍閥の紙幣を造る爲め使用されたり改正の意無きや如何と詰る之れに對し内田外相は參戰借款は秘密なれば答辯する能はずと答ふ望月氏興便、電信借款は大正七年四月前渡し金を支出せるも尚何等契約を爲さず如何外相之れに對し政府委員をして答辯せしむ可しと答へ分科會に讓り次いで望月氏は剩餘金引渡し如何と問ふ外相は明し難しと答ふ望月氏陸軍を中央に集合せしむるは敢て干渉に非ずや政府の所見如何と質せば外相干渉なれば支那自身の處分は内政干渉なれば支那自身の解決す可きものなりと答ふ望月氏講和會議に於ける支那に對する租借地の返附駐屯軍の撤廢等支那の如何と迫る外相鐵道管理撤廢に對し相當援助す可し詳細は列國との關係あり明言するを得ずと述べ付く望月氏國際聯盟以外の出兵は自發的なりや殘留部隊を引揚ぐるは列國の依頼によるかと問ふ外相日本の發意なると共に與國の一致承認せる所なり望月氏過激派に對する我態度如何外相此説明は我利益に止まざるを以て答辯する能はずと突嗟に望月氏兵力的自由と軍備制限に關し我國と列國と相違する點を明示せられ度しと突込む外相目下考慮中なれば申し述ぶるを得ずと望月氏東伯利鐵道管理問題經過如何外相清線問題は目下交渉中なりと答へ之にて外相に對する質問を打切りたるが更に望月氏は陸相に對し兵員動員表は軍機の秘密に亘らざるや之を質せば

▲田中陸相 は編成は秘密なれども兵員配合を示すは必要なりと信ずと述ぶ望月氏は參謀本部の我儘を制するには之を陸軍省の一手に併合するを要す如何陸相我儘を爲したる事無しと受け流す此時高橋光威氏(政友)望月氏が外相に對する質問は一面の訴に過ぎず殊に陸相に對し『臭いもの身知らず』と言へるは須らく取消す可しと要求し政友新政所屬之に賛成し望月氏又之を取消し本時廿五分休憩

午後一時廿分再開有森新吉氏(國民)と高橋藏相との間に金貨と紙幣との關係通貨と物價との關係に就き問答あり續いて有森氏貨幣論を振り廻はし藏相之に應酬し夫より危險思想に就き質す所あり

▲原首相 政治の害さるゝこと無しと答へ次に有森氏は陸海軍大臣を軍人に限るの危險を主張し改正を希望すと述ぶ之に對し首相は希望なりやと念を押す有森氏更に鐵道用品拂下に就き問ひ之にて漸く質問を打ち切る次に

▲北井波治目氏(無所屬)は司法權獨立の他に就き質問を試む原首相は司法權の獨立は決して犯されず司法官の待遇は他官吏と均衡を失せぬやうすべしと答へ次いで鈴木司法次官説明を爲し有森氏更に立ち私立學校の同盟休校に關して質問す中橋文相出來得る限り區別なきやう取計らふべしと答ふ北井氏再び起ち治水事業に關し根本策如何を問ふや之れに對し

▲床次内相 は根本策の決定は緊要ならんも財政上考慮を要すべしと述ぶ次いで

▲町田忠治氏(憲政)は(一)財政上の金融(二)國防問題(三)鐵道政策(四)公債政策等に就きて質し之に對し

▲加藤海相 は海軍國防方針は昨年變更せり戰艦八隻巡洋艦八隻の建造は既定の方針なるも更に戰艦八隻を增加すべしと述べ海相と町田氏との間に三三押し問答あり次に鐵道政策に就て首相は出來得る限り完成を期すべしと述べ町田氏質問を保留し四時半散會せり(東京特電)

▼本會議(二十八日)

選擧法改正案に滑稽劇の一幕を演ず

午後一時十五分開會、議長事故の爲め缺席濱田副議長議長席に着き通告順に依り横山勝太郎氏を指名す

▲横山勝太郎氏(憲政)登壇公娼制度全廢に關する質問を爲し(一)政府は現下の公娼制度が法に抵觸せずと信ずるか非常の政策を必要とせざるか(二)該制度は國家の面目を毀損するものと認めざるか(三)公娼は奴隷の如し政府は現制度を存續し現狀を是認するか(四)公娼制度を廢止せば從來の密淫賣業に大改善を加ふる必要無きか(五)若し公娼制度を廢止せんとすれば之に代る可き方策如何と問ひ直ちに

▲小橋内務次官 内相不在に就き書面にて答辯す可しと答へ次に

▲唐端清太郎氏(政憲)登壇鰹漁業取締に關する質問を爲し之を許可漁業と爲したる理由如何、臺灣水產會社にのみ許可したる理由如何又其後此方針を改むる如何と問ふ之に對し

▲下村民政長官 内地に於ける臺灣漁業は區別無く平等に許可しつゝありと答ふ次に

▲伊東知也氏(國民)登壇滿洲に於ける土地商租に關する質問を爲す即ち(一)土地商租權に就きて日支當局間に解釋の相違あるが如し現内閣の解釋如何(二)商租權に關する附帶細則未だ規定されざるが如し如何(三)商租權を得たるものゝ當局との間に紛紜を生ぜり當局の解決法如何と問ふ之に對し原政府委員は書面にて答辯すべしと答ふ次で

▲樋口秀雄氏(政憲)は御下賜金を以て官學擴張のみに當つるは如何と問ふや中橋文相は私學奬勵に就ては追つて政府より提案すべしと答ふ此時大岡議長議長席に著き國民黨提出選擧法改正案に就き楠原悅二郎氏を指名す

▲楠原悅二郎氏(國民)登壇改正の要旨は大體選擧權の擴張、年齡の低下、選擧罰則の改正、人口增加に伴ふ議員定數增加なりとて納税資格二圓中學以上卒業者、兵役義務に服せる者に選擧權を與へ被選擧權の年齡を二十五歲と爲せる旨を詳細説明し次いで

▲今井嘉幸氏(無所屬)登壇政界革新の上より見て國民黨の普通選擧改正案は不徹底なりと駁するや楠原氏は之れを以て政界革新を爲し得ずと述ぶ此問答中今井氏は『選擧法不充分なるを以て今日の如き下らぬ議員選擧さるゝなり』と失言せし爲め伊東知也氏は席より『下らぬ議員とは何んぞ』と怒號す今井氏は『之れ國民黨の常套語なり』と言ふや伊東氏『國民黨の誰なりや』と詰問すれば議長も亦之を追窮し結局『下らぬ』の語を取消し岩崎氏の動議に依り廿七名の委員附託に決し午後三時三十七分散會せり(東京特電)

◇講和全權委員會 國際聯盟決議

諸星の演説=佛首相の採決振り

廿五日の講和全權委員會議に於て國際聯盟案可決されたるが同會議に佛國首相クレマンソー氏は國際聯盟に關する決議文を讀み上げ終つてウイルソン氏起ち輕快なる口調にて演説を爲し列席委員を傾聽せしめたり次に英國首相ロイドジョージ氏登壇演説を試みたるが首相の演説は簡單なりしも明快にして暢達聽者をして感動せしめたり續いて伊國首相オルランド氏の眞摯熱烈なる贊成演説あり終つてブルジョア氏の打算的なる説明ありたる之より支那、波蘭、白耳義の委員は各自簡單に所懷を述べ更にクレマンソー氏は別に異存無きや否やを質し異議の聲擧がらざるを見越し聲明して曰く『決議案は全員一致可決せり』と(巴里特電)

▽決議草案

廿五日講和會議公報は國際聯盟の決議草案を左の如く發表せり(巴里特電)

(甲)聯盟各國が其方法決定の爲め茲に會せる所以たる世界的解決を維持するには國際聯盟を組織し各國が承認せる國際的義務を履行し戰爭を防止する爲め國際協同の實を擧げざる可からず

(乙)國際聯盟は一般的講和條約の一部を爲す可く之が目的の遂行上信頼せられ得可き各文明國の加盟を許す可し

(丙)國際聯盟を構成する各國は定期的に國際會議を開き又會議と會議との期間中聯盟の事務を執行する爲め常設事務所及び擔當員を設置す依て平和會議は國際聯盟の規約及び職責を詳細に規定する爲め聯合各國を代表する委員會を任命す

戰時法規違反に關する決議案

五大國より各二名他の諸國より合せて五名の代表者を以て委員會を組織し左の諸件を調査報告せしむ

第一、戰爭發頭人の責任

第二、獨逸及び其各同盟國が陸上海上及び空界に於て戰爭の法規慣例に違反したる事實

第三、之等の犯罪に對する敵軍各違反者の個々の責任の程度(此違反者中には各司令部員及び個人をも含み總て其地位の高下を問はず)

第四、之等の犯罪を審理す可き裁判所の構成法及び裁判手續

第五、又廣く同質の事項に關する件

保障の件に關する決議案

五大國より各三名を超過せず又白耳義、希臘、波蘭、羅馬尼、塞耳維よりの各二名を超過せざる代表者を以て委員會を組織し左の諸件を調査報告せしむ

第一、各敵國の支拂ふべき報償金額

第二、敵の支拂ひ能力

第三、支拂の方法形式及び期間

產業及び勞働問題に對する決議案

五大國より各二名他の諸國より五名の代表者を以て委員會を組織し國際的見地より豫備條件を調査し及び講和條件に影響すべき事件に接する等へ協同行動を執るに於て必要なる國際的手段を考察し又國際聯盟と協議し指導の下に如上の調査を繼續するの任務に當る可き常設機關の組織方法を報告せしむ

五大國より各二名他の諸國より五名の代表者を以て委員會を組織し航行、水路、鐵道の國際管理方法を調査報告せしむ

講和會議は叙上の決議案に修正を加へず原文の儘可決したり

◇諸問題聯盟委託

巴里來電=講和會議は民族の爭ひ起らんことを防ぐ爲めメソポタミヤ、パレスタイン等の諸問題を國際聯盟の成立と同時に同聯盟に委託せんとするものなり斯くせらるゝ之れ英國が國際聯盟の主義と兩立せざる領土に對しては等の要求を爲さざらんとするを指示するものなり(東京特電)

◇諸問題と委員

講和會議に提出せられし諸問題に關し任命されたる各委員次の如し(巴里電報)

▽國際聯盟委員 別項所載の如く國際聯盟案は廿五日全權會議にて可決されたるが右に關する委員左の如し

米國ウイルソン▲ハウス大佐▲英國ロバートセシル▲スマッツ將軍▲佛國レオンブルジョア▲オアラルマウド▲伊國オルランド▲ウイテリオスキヤロアイア▲日本珍田捨巳▲落合謙太郎

▽聯盟特別委員會座長 國際聯盟特別委員會は多分ブルジョア氏を座長とし第一回の會議を開くべしと發明せらる

▽我國際勞働委員 國際勞働問題に就き任命されたる日本委員左の如し

前商工局長岡實▲和蘭駐劄公使落合謙太郎

▽我損害賠償委員 戰爭に基く損害賠償委員任命されたるが中日本委員左の如し(巴里電報)

倫敦駐劄財務官森賢六郎▲英國大使館參事官長岡春一▲三井重役福井菊三郎

▽各國鐵道國際聯絡委員 各國鐵道の國際聯絡其他に關する委員=日本委員左の如し(巴里電報)

海軍省參事官山川端夫▲陸軍步兵大佐佐藤安之助

◇日本は世界の大國

佛國外相ピション氏は國際新聞記者團の代表者に會見し『日本の地位は謂ふ迄も無く世界大國の一なり』と說けり(巴里電報)

◇西伯利鐵道管理協定

英佛兩國より回答著次第發表 輸送局の事務は我が政府擔任

西伯利鐵道管理問題は關係各國間の協定纏まり米國政府は既に右協定案を承認したるを以て英佛兩國より回答到著次第發表せらるゝ筈なるが要するに露國の秩序回復迄露國委員を首班とする日米英佛支の五箇國鐵道管理委員を組織しイルクツク以東に於ける西伯利鐵道全線を管理し其運行の自由を確保せんとするに在り而して之れが目的は右の如く五國共同管理なるも其實際の事務に當りては便宜上我國は主として東清鐵道の運送事務を分擔し烏蘇里黑龍兩鐵道は英佛の共事務を擧り又西伯利鐵道は日米佛各國共同して其事務に當る筈なるも從來の關係上改築修理等のことは總て英國委員にて擔當することゝなり從つて右に要する材料は米國より供給すべし又輸送局を設くる筈なるが這は主として我國其任に當ることゝなるべし尚最初西伯利鐵道管理は日米間の交渉容易に進捗せず英佛は傍觀の態度を執りつゝありたるも遂にこれに加はるに至り漸く各の互讓成立し各自の主張を傷けず協定を見るに至れるものなりと(東京特電)

◇勅選議員新任

七日左記勅選議員仰せ付けられたり(東京特電)

任勅選貴族院議員(各通)

正三位勳一等 大山綱昌

從三位勳二等 大谷靖

正四位勳三等 高橋琢也

◇博邦公出發

伊藤博邦公は廿八日午前八時卅分東京驛發渡鮮の途に就けり(東京特電)

◇總督釜山通過

長谷川總督は東條武官、藤波通譯官、神田秘書官等を隨へ廿八日午前九時四十分對馬丸にて釜山著、鐵道ホテルに小憩の後同十一時三十分發にて京城に向へり(釜山)

◇成川少將逝去

成川海軍少將は二十六日腦溢血にて逝去したり(東京特電)

◇總督今朝歸任

長谷川總督は既報の如く二十九日午前九時二十五分南大門驛著列車にて歸任す

◇南北棉業計畫

三井物產株式會社朝鮮紡織株式會社の兩社重役會議の結果朝鮮に於ける棉花の栽培及び實綿、繰綿及び副產物の販賣を目的とする南北棉業株式會社を設立すべく目下總督府に許可申請中なるが資本金は兩社の合同出資にして各五十萬圓宛の株式を引受くる筈なり發起人の氏名左の如し

島村恭平▲山本條太郎▲稲垣甲之助▲齋藤吉十郎▲兒玉一造▲辻武美▲高省三▲長辰次郎

◇鳥瞰錄

天人だとか鳥人だとかまるで人間わざでなかの相に褒めたゝへられたアートスミスは佛國で銃殺せられたと云ふ說がある▲スミスのみならず例のお母さんまでも殺されたと云ふのは實に意外だ▲意外も意外だが實際意外であるのは彼等兩人は獨探だつたとの事である▲日本へ來たのは知らぬが佛國で共に銃殺されたスミスのお母さんと云ふのは獨逸將校が變裝して居たものだ相な▲本州はもとより北海道から朝鮮へ迄も來て飛んだ先生が獨探だつたとは恐れ入らざるを得ない▲獨逸の探偵局へは小さな日本を上空から見下した手に取る樣な報告書が横轉逆轉木の葉下しでヒラく舞ひ込んで居るのだらう▲スミスが來た當時或一部でも斯う云ふ樣な風說がポツく聞かぬのでもなかつたが何分川合者の初めて帝劇でも見た樣に呆ツ氣に取られて褒めちぎつたものだ▲褒め過ぎた先生方は開いた口が閉がるまい何と兎もあれ之れが實際だつたら油斷もすきもあつたものぢやないワイ▲墺太利の前陸軍々需補給長であつたレオポルト、サルブアトール大公は皇族の一人であり乍ら▲今回の大戰中軍需品に對して政府をして時價よりも十割乃至二十割も高い金を支拂はしめ▲其の間に立つて巧にボツボをきめ込み八百萬圓を儲けたとは驚く▲流石打算民族とは云ふもの▲飛んでもない雲の上人船あつたものだ▲ストラスブルグで軍需品の競賣が行はれて居るが飛行機一臺の値が唯の五十圓▲ツェッペリン飛行船は百二十圓でも誰も買はなかつた相な▲自動車なども一時間四圓だの五圓だの云はずにせめて實價値段に近く引下げては何うだらう。

大阪期米

二十八日 前場 後場

寄付 三八・二一 三八・二三

高値 三八・二〇 三八・二八

仁川期米

▲二十八日後場 各地寄未着なるも中限三十五圓

仁川米豆取引所

二十八日の二月限

朝鮮總督府京畿道告示第三號
調査及測量ノ爲朝鮮林野調査令ニ依リ京城府内ニ於テ林野及林野内ニ介在スル林野以外ノ土地ヲ有スル者又ハ朝鮮林野調査令施行規則第一條ニ規定スル國有林野ノ緣故者ハ大正八年二月一日ヨリ同年二月十五日迄ニ同施行規則第二條及第十五條ノ規定ニ依リ申告書ヲ調製シ京城府尹ニ之ヲ提出スヘシ
申告書用紙ハ京城府ニ於テ之ヲ交付ス
朝鮮林野調査令施行規則第四條ニ規定スル抗辯ハ前項期間内ニ當該吏員ノ指示ニ從ヒ之ヲ建ツヘシ
大正八年一月二十四日 京畿道長官 松永武吉

商業登記公告
株式會社朝鮮殖產銀行鐵原支店登記變更
大正八年一月拾九日江原道江陵郡江陵面大和町四拾番地ノ支店ヲ左ニ移轉ス
江原道江陵郡江陵面本町八番地
大正八年壹月貳拾貳日登記
京城地方法院鐵原支廳

軍馬拂下公告
牡馬約五十頭
本月三十一日午前十時ヨリ在釜山臨時軍馬檢疫所構内ニ於テ賣拂ス詳細ハ當所ニ就キ承知スヘシ
釜山臨時軍馬檢疫所
(注意)競買希望者ハ當日印鑑ヲ携行スヘシ

新石油各油卸 國旗類一式 犬印石版小賣 活版インキ 炭山成徳用品

貿易雜穀商 ⺈藤富國太郎商店 京城本町三丁目 電話長(三)三九〇〇八 振替京城一七七八番 電略(ク)又ハ(フ)

京日案內
一回前金 ▲申込中後掲載中止の節は料金不返 ▲六回以上の御申込は特に割引の事

京城工室急入用希望者は來談又は照會ありたし 仁川 築地活版所

事務員 一名 外交員二名 電線架設工事經驗ある者急入用希望者本人來談 京城本町二丁目若草町角

新學期 鮮語科 英語科 三ヶ月修業 各級 外人三名 南大門通り一丁目

貸家 日本建 二疊の庭 三坂小學校前 電話三一〇五番 杉野樂器店

有給社員募集 二十歲以上六十歲迄 京城府金町日本生命出張所内

店員募集 商業に經驗ある者を採用す

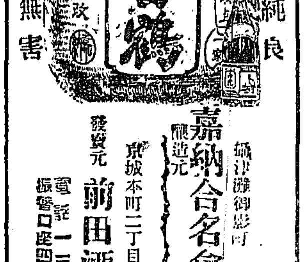
新古衣服注文榮

御袴仕立專門 好能く迅速 京城本町四ノ一五 山崎商店

年金恩給 低利 四年半迄保險不要 江州屋本店

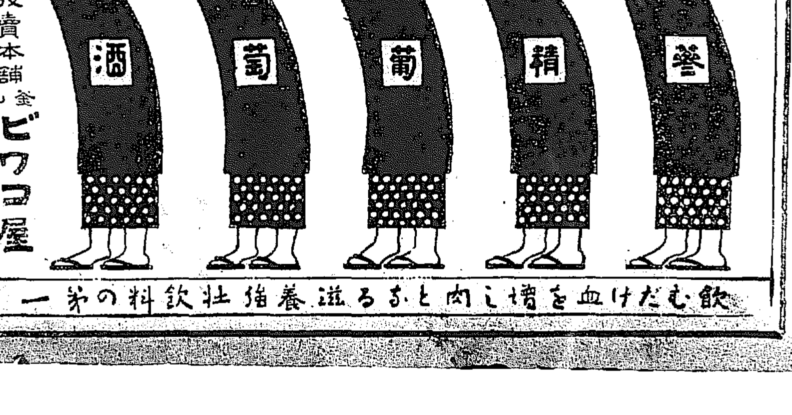
李太王殿下御納品
品質撰擇
本品ハ純良白蔘ヲ原料トシテ精製セルモノニシテ金褐色(紅蔘ト同色)ニシテ粘著力强ク郁佳ナル雅味ヲ有シ、尾蔘ヲ原料トシテ速製セル暗黑色ニシテ苦味强ク鐵臭ヲ有スル粗惡品ト同視スベカラズ。
強壯、補血、興奮、健胃、健神、發汗、收斂、利尿等ノ效アリ
特約大販賣店 京城日報社代理部 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番

產科 婦人科 二宮醫院 醫學士 二宮亮吉 京城旭町 電話一二〇一番



大日本優等清酒 ハクツル
品質純良 衛生無害
醸造元 嘉納合名會社
發賣元 京城本町二丁目廿番地 前田酒店 電話一三七番 振替口座四二五番

周易家相 岡村介石 京城明治町二丁目



發賣本舖 釜山 ビワコ屋
飲むだけ血を増し肉となる滋養強壮飲料の第一

◇米國過激派[illegible]

[illegible]米國講和會議にプリンセス島に於て露國過激派と協議せんとするの議を提出したることは二十四日米國上院の大問題となり[illegible]

[illegible]現役延期者を西伯利出征軍より歸還せしむる者左の如し（イ）本月下旬より二月下旬に亙り[illegible]豫後備將校以下（二）歩、砲、騎、工[illegible]電話隊行李に屬する者（三）衛生[illegible]四聯隊中殘留したる者（三）薪炭採集部（四）糧秣拾集部（五）第一航空[illegible]の必要無きに至り逐次除隊せしむる事とし目下大部分は歸鄕せしめ得たり（東京特電）

○國葬儀日取は三月四日に確定か

李太王殿下國葬儀日取に關し廿八日總督府より內閣に達したる內報に據れば朝鮮には古來の慣習、緣起等ありて二月十六日と三月四日の外適當の日無き由なれば多分三月四日國葬に決すべしと（東京特電）

○長を採り短を補ひ 御葬儀は嚴肅に執行 國葬儀掛次長 李完用伯談

李太王殿下の國葬儀掛次長に任命せられたる李完用伯は記者の往訪に答へて曰く『李太王殿下は齡古稀に近き御高齡に拘らず常に御健勝に在らせられたので此度突然の薨去は實に意外の恨事である

▽殊に拾歳の時分から御膝下を離れて內地に御留學中の王世子殿下が御健かに御成人あり梨本宮家との御慶事を目前に控へ乍ら溘焉として薨去されたことは太王殿下の御不幸は勿論父王殿下を奨ひ給へる王世子の御悲嘆を拜察して

▽哀痛の念に堪へない』更に國葬儀の事に關しては『太王殿下の國葬儀の事に就ては不肖國葬儀掛次長の任に當り其責を完うし得るや否や懸念に堪へないが自分の考へとしては今回の葬儀は國葬なれば充分の

▽熟議研究を要し假令儀式の大體を朝鮮の儀例に依るとしても所謂採長補短の方法を採るべき方針にて朝鮮の舊慣に依る葬儀は往々嚴肅を缺ぐの憾ありと聞けば大輿の上に指揮者を乘せ鈴を打振ふなるが如きは一見不謹愼にして

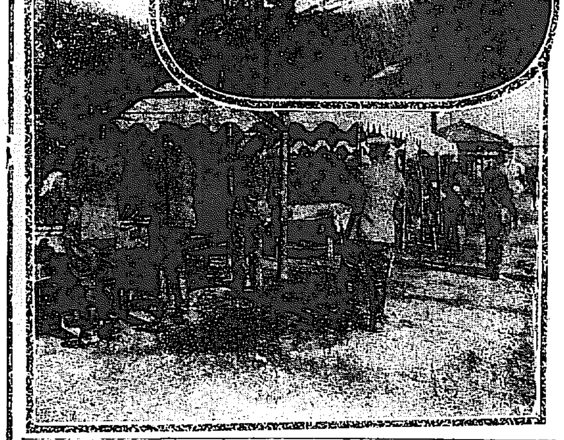
▽謹嚴を缺き其他改むべき點多々あるべきを信ず』と陳べ[illegible]は先般歸城の途次[illegible]報じ

○葬儀事務所は內閣に 協議の上決定

下條內閣書記官は語つて曰く、內閣にては李太王薨去の通知を受くると共に宮內省朝鮮總督府李王職等より參集を乞ひ國葬儀の大綱の計畫を立て二十四日再び會議を行ひ京城よりの報告を參酌し詳細の打合せを遂げ葬儀事務所は內閣に置くも葬儀掛りの一部は京城に出張し李王家と協議の上萬事決定の事となれり國葬の

▲日取は　從來は葬儀掛の發表後十日位にて行はれしが今回は遠隔の地にもあり種々異なる事情もあれば伊藤公以下の葬儀掛りが二月二日頃迄に京城に著し其上にて決定する事となるべし葬儀は或は佛葬を加味すと傳へらるゝも國葬と決したらうへは國葬と稱する神葬に近き特殊の儀式に據る譯なり

▲維新後　國葬の禮を給た[illegible]



龍山に着いた凱旋兵（下）と歡迎の婦人（上）

○看護長 魔睡劑を使用して 强盗を働く

一月二十三日午前二時頃小垠峴衛戍病院付吉川三等軍醫留守宅へ黑色マフラを以て上半面を覆へる一名の曲者夫人あさ子（三）の寢室に忍び入り熟睡せる夫人にクロロホルムを用ひたるもの如く半睡狀態の夫人は何者かの枕邊に佇めるを自覺せるも頭痛甚だしきより其儘布團を被り居たるに枕許に佇立せる曲者は容易に立去る氣配もなく

▲凄文句を並べて現金六十一圓在中の狀袋を强奪して悠々立ち去りたり此の報に接したる憲兵分隊に於ては速刻活動を開始し晝夜兼行搜査の歩を進めたる結果該犯人がクロロホルムを使用せる點等より賊は同病院に關係あるものならんと推定し取調べの結果當時小垠峴衛戍病院勤務二等看護長なる三重縣桑名郡桑名町大字船町生れの片岡保（三九）なる者に對し突如

▲家宅搜索を行ひたるより有力なる證據物を發見したるより片岡を嚴重に取調べたるところ該强盗犯人は同人の所爲なる事を自白し强奪せる金員六十一圓も全部所持し居たるを以て廿四日同人を憲兵分隊に引致し犯罪の動機を取調べたるに同人は昨年秋頃より眠町遊廓貸座敷松廼家に屢登樓しお定まりの郭の金に詰りたる結果不了見を起し前日路上にて拾ひし鍵を以て吉川軍醫が定州へ出張の留守宅を襲ひたるものなりと（平壤）

高等女學校の遠足　漢江の氷上を散歩して居るところ

○露語で愛嬌を振り撒く 大喜びの歸還兵

出征第三師團司令部附豫備後備兵四百名は二十八日正午龍山著三時間休憩の後南行した、輸送指揮官小山輜重兵大尉曰く『十三日チタを發し十日餘りを費して

◆長春に　著いたが、出征の際は輸送の困難、糧食の供給不便等のため、毎日乾麵麭で凌いで來た、長春以南になると停車場毎に湯の設備があるし、食餌もちやんと準備して置いて呉れるので、非常に樂になつた』驛々には例に依つて愛國婦人會員や在鄕軍人會等の歡迎送があつて懇切に凱旋兵を犒つて居た、歸還兵は何れも

◆元氣で　驛に著く毎に內地の子や歡迎送人に向つて、露西亞語を浴びせかけて面喰はせ、龍山でも露西亞語で『湯を呉れ』『有難う』などと嬌を振りまき去るに臨んで『左樣なら、ウラー』ですつかり露西亞歸りの氣分を見せてゐた。

○日本に住み度いと云ふ 獨逸俘虜の願

澤山な獨逸俘虜の情報員は最近に於ける俘虜の狀況に就て語る『講和會議乃至獨逸の國情に就ては俘虜も十分承知して居り、彼等は自己の今後に付極力努力して居る獨逸本國は

△亂の如く　亂れて居る、殊に世界の何處へ行つても敵人として排斥されるやうな狀態なので本邦に收容中の俘虜も一旦放されると其日から直ちにパンに窮する譯である、所で彼等には左まで危險思想も注入されて居ないから俘虜將校中には尚皇帝を崇拜し歸國後は大いに建國の爲めに盡すと豪語して居るのもある又支那

△南洋等に　在住したいと云ふので此方面に向つて就職口を探すのが多く盛んに依賴狀を發して居るが最近獨逸人を雇入れると他から壓迫されると云ふので斷つて來るのが多い爲大分悲觀して居る中には是非日本に止まり五六十人共同で北海道邊の

△不毛の地　を開墾したいと云つて居るのもあつて是等に關する願出でが可なり澤山ある目下は習志野、久留米、板東の各千人餘、名古屋、青野ヶ原、靜岡其他總計四千五百名を收容してあるが餘程多數が日本在留を希望して居るやうである、尚俘虜を勞働に使役する件に關しては目下研究中である』

○丘上の慟哭式

李太王殿下の薨去に付本町富川郡多朱面龍岩里に於ける里民兩班等は二十六日午後五時同里の山丘に登り燭を燈らし哭の式を擧げた

○救はれた少年乞食

幸福な生涯に入り乍ら逃出した者も居る

救世軍士官學校で乞食少年を引取つて親切に世話をして居る事は既報の如くである端なくも救ひの網の手に救はれた不幸な子供達は今や諄々と教へられて立派な子供となり幸福な日を送つてゐるが救世軍では此子供達へ

▲何か職業を授け度いと云ふ考へから目下大きな子供には細紐や新聞をやらせ小さい子供には細紐を撚らせて居る此子供達は大方親無し子で中には惡者の爲に利用され乞食や搔つ拂ひをしてゐたものもあつた或る子供なぞは度々逃げ出して迷惑をかけた事もある又或時二人の子供が

▲同時に逃げ出したので手分けをして漸く一人を捜し出したが他の一人は折柄の酷寒に遂に凍死したと云ふ事である中には兩親が連れに來た者もあつたが子供に聞くと其親は子供に乞食をさせて其金で酒を飮んでゐると云つてゐた甚だ怪しからん親達である是等不幸の子供達を救ひ出して

▲眞人間にする事は緊急な事業であるが一方却々金を要する事なので救世軍では今後一般慈善家の寄附をも受ける事となつたが寄附は何品でも好いとの事である

○恐ろ恐ろ 狐穴探檢 女學生の遠足

[illegible]立高等女學校の二年級を除いた外全部六百餘名の生徒は二十八日午前十時から教師の引率で漢江神社附近まで遠足を試みた寒い／＼と毎日暖爐のあたりで縮こまつて居た生徒達には寒氣は相當にあつたが風がなくほか／＼と照和かい

▲春めいた　郊外の陽の光りが怎麼にか嬉しく龍山の切通しを過ぎて練兵場の廣つ場あたりへ出て來ると最う六百の女生徒の魂は放たれた鳥のやうに、而も放なものとなつた人道橋附近の枯草の中に微な草萌を發見した或る生徒の如きは思はず

▲大きな聲を擧げる位で鐵橋の上を通る路すがらも其處に此處に一團となつて唱歌のコーラスや嬉しさうな笑聲が起つた、斯くて午前十一時四十分やつと漢江神社へ著いて此處で五十分休憩して裏の栗林の中で携帶の辨當をつかつた四年の一部の連中は御苦勞にも裏山のだら／＼路を下つて

▲稻荷神社の狐穴探檢に出掛け恐々ながら穴の蓋を取つて『狐が居るわ、長い／＼顏をして』など茶目振りを發揮するもあつた、それより神社の横の坂をぞろ／＼と下つて瑠璃盤のやうな漢江の氷上を渡ればメリ／＼と異樣の音響に娘心の『あれつ！』と恐つかな

△悲鳴を擧げたり尻餅を搗くなど大騷ぎ、漸く渡り終つて對岸の砂丘の上で勢揃ひし午後二時大愉快で歸校した

○今年から各中學校共 同じ日に試驗 期日は三月廿三日から三日間

朝鮮各地官公立中學校の入學試驗日は昨年迄は各々一定して居なかつたので受驗者中には豫め二三の學校へ願書を提出して置いて甲校で縮尻れば乙校で受驗すると云ふ手段を執るものも尠くなく學校としては事務取扱上に支障りを生ずる事が往々あつたので本年度からは京城、龍山、釜山、平壤、大田の官立中學校は協議の結果受驗日を來る三月廿三、四、五の三日間に一定した願書は三月十日より同廿日迄に希望中學校へ差出すべしとの事である尚募集人員は

京城中學百五十名▲龍山中學百五十名▲釜山、平壤、大田各中學百名宛

にして試驗課目は國語、算術、日本歷史、日本地理、理科等で外に簡易なる口述試驗がある筈であるが因に京城中學校本年度の卒業生は約九十六名であるが進校希望別を示すと

高校廿八名▲高商十八名▲高工十八名▲慶大四名▲陸軍士官學校四名▲同經理學校一名▲醫專七名▲商船二名▲東洋協會二名▲上田蠶絲校一名▲實業三名

にて昨年度に比べると本年度の進學希望者は非常な增加だと云ふ

○大聖教會の敬悼法要

嚴に李太王殿下の敬悼法要を誦修せる若草町本願寺に於ては廿八日午前十一時鮮人を會員として組織せる大聖教會主催の下に一般鮮人の爲め李太王殿下の敬悼法要を誦修し本堂佛前に中陰壇前に盛んに香華を供へ本願寺より開教總長松原師、聖教會主任石原隆[illegible]師以下法衆入堂鮮僧の正信偈讀誦に次いで松原總長の調聲にて日沒讃偈の作法あり會葬內鮮人百數十にて正午過ぎ終了せり

敬悼法要の光景

○金泉の大雪

金泉地方は去る二十三日より降雪あり屋外一面銀色を呈したるが二十四日は前日に比し稍小降りとなりしも夕[illegible]

○曾校生徒敬弔（平壤）

高等普通學校田中校長以下教諭及び生徒一同は李太王殿下薨去に付弔意を表せん爲め廿五日第三時限の時間を利用し一同講堂に參集謹弔したり

○女交りの賭博

原籍長崎縣高來郡深安村大字藤田尾生れの當時大邱村上町小林謹吉（三八）香川縣高松郡內町生れ當時大邱南町內山銀次郎內緣の妻高澤てる（三七）慶山郡邑內大高洞鄭武植（三〇）の三名は二十六日午後二時半頃大邱幸町有田友二郎方にて賭博最中を警官に踏込まれ前記三名は賭錢十八圓とゝもに大邱署に引立てられ目下取調べを受け居れり

○森林令違犯

咸南楔源郡豐上面內洞里高泰範（三八）は昨年前森林令違反として處刑されたる前科者なるがこれに懲りず昨年十月より十一月にかけて居里國有森林中に於て立木五十本を盜伐し窯を造りて炭を燒き居たることを馬轉里憲兵駐在所の探知する所となり此程元山法院支廳に送られ森林令違反として笞九十に處せられたり（元山）

○有望な日本の玩具 ＝米國を視察して＝

米國に玩具を視察して歸つた某氏は曰く『米國に於ては一年に四十萬圓の玩具の需用があるのですが其中四五萬圓位しか米國內で供給することが出來ないので後は多く獨逸から輸入して居ました、所が今迄は大戰で獨逸から輸入が中止して居ましたし又此後とても獨逸からの輸入がいつ始まるか豫想のつかぬことで米國では目下非常に困つて居ります、此間のクリスマスの時にも玩具が

△全部賣切　れてしまつていくら買ひ度くとも買へないと云ふわけになりました、又日本では年々七八萬圓しか玩具の製造が出來ませんから、もう少し供給高を多くしてどん／＼米國へ輸出するやうにしなければなりません又支那の玩具は米國では品質の粗なので評判が惡いですから其際日本が大に努力したら日本の玩具が二倍以上の輸出品となるかも知れません、その上近頃はセルロイドの如き

△人形等は　家庭の主婦が內職として人形の彩色をする等次第に行はれてゐる等は國家の爲め喜ぶべきことでせう

○正誤　二十八日夕刊『死刑執行』と題する見出しは『死刑言渡し』の誤植につき訂正す

[illegible]二十八錢と押せしも押目は又買[illegible]に上白き四十錢と持上げ結局三十八錢と打止めたり 後場中限一箇三十五圓五十錢七十[illegible]

女殺しの女の病

●月やく不順……の方
●こしけ……の方
●子宮の惡い……の方
●血の道ヒステリーの方

御油斷なさらず…今直ぐハガキ一本で御申込あれ

女一生の幸福となる美本進呈
最良藥二日分前金頂かず送藥

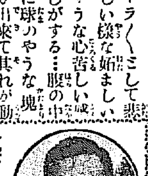
毎日／＼頭痛がする。それがピン／＼と甚い痛み押し付けられる樣な重苦しい感じ…そうかと思ふと眩暈がする。グラ／＼ッと眩みがする…こしけが下りる子宮から白い粘りのある氣持の惡い下り物がする月經が早くなつたり後れたりする、月に二度も三度もあるかと思へば二月も三月も無い事がある…月やく時には下腹が痛むそれがシン／＼と言ひ樣のない心地の惡い苦痛である…足腰が冷わる氷の樣に冷たい…下腹が張る內股が引ツル、時々ズキン／＼と子宮が痛む氣味の惡さ…少しの道程を歩いてもスグ動悸烈しく氣がイラ／＼として悲しい樣な媚ましい樣な心苦しい感じがする…腹の中に球のやうな塊が出來て其れが動く、胸苦しい際に萬事億劫で一ッ事が長く出來ぬ…

サア斯樣な容態に一ツでも思ひ當る方はございませんか

世間には斯樣な容態で、斯樣な樣々な苦惱を受けて辛い悲しい日を送つて居る御婦人が尠くありません。之れは申すまでもなく『女の病』と一口に云ふ子宮病血の道ヒステリー月經不順こしけ等の子宮の病でございますが凡そ女と生れて此『女の病』のある位辛い悲しい不幸な事はございません。假へお金に不自由のない身分であらうと又如何に人が羨む程の美人であらうとも若し此『女の病』がありましては到底女としての幸福な生活は望まれません、お嫁に行く事も出來なければ假令嫁入りしても夫婦の歡樂は出來ずそれところか種々の病苦に惱まされ辛い悲しい思ひに泣かねばなりません實に女として此位イヤな病、恐ろしい病氣はございません。

ところが此恐ろしい病氣もサツパリと治して生れ變つた樣に快くなれると云ふ最新良藥が此度發表されました。其れはビホーと云ふ最新のお藥でございまして

從來澤山ある婦人藥の樣な昔から有觸れた振出しや煎じ藥ではなく現今の進んだ醫藥學上藥効確實とされた最新最良藥の配合で、之れを小さな錠劑に製藥した極めて優秀な進んだお藥でありますから、キキメのよい事は驚くばかりで現に從來散々賣藥して効なく失望して居た方がお藥『ビホー』を飮むで辛い病苦も忘れて了つたと云ふ事實も澤山あるのでございますが子宮血の道ヒステリー等で辛い悲しい日を見て居る方は申すまでもなく、前記の樣な容態に少しでも思ひ當る方は寸時も早く此『ビホー』を召上つてサツパリと病苦を忘れ女一生の幸福を得られませよ。



今日の此新聞

紙上で特に見逃しならぬは此記事廣告で、讀めば非常の利益も得られます 見逃し給ふな

前から今回此『ビホー』が眞價をキキメ確であると云ふ事を皆樣にお知らせいたし、一人でも多くの方に喜んで頂きたいと存じまして、ドナタでも前金御送りにならないでも一本のハガキで『試藥送れ』と御申込次第三日分金四十五錢の最良藥を直に御送藥いたします。そして先づ御試しを願ひ有效藥代は何れ後日でもよいと云ふ金郵券でも頂けばよいと云ふ安全確實な、他で眞似の出來ぬ便法を實行いたして居るのですから、ドナタも此機を逸せず何卒あれハガキ一本で此の最良藥をお召上がつてお喜びなされよキット御喜びなされます。

婦人の寶 無代進呈

尚ほ私方には婦人にとつて大切な是非見逃しのならぬ美本『婦人の寶』があります。ドナタにでも無代で呈上いたします。御遠慮なく御申込み下さい美本だけの申込みならハガキで五厘切手貼つて御送りになれば一枚帶ひ封して大至急お送りします。無代だからとて下らぬ張り申し込みと見做して頂いては困ります。一冊非常に[illegible]札的のものではない實に有益な見逃しならぬ本です。見逃したら御損となる美本です大切ですよ（申込み順に進呈す）

女のクスリ ビホー 登錄商標

東京九段下二の四十七
本舖 橋本健藏藥房 電話番町一八八二番
代理店 京城 新井大藥房
●ビホーは全國有名藥店に販賣す

色白藥 毛生藥

東京美容院の色白藥毛生藥にきびそばかすの藥ぬけ毛止め眼毛藥やせる藥一切の美顏料及藥品は院長北原十三男氏數回の洋行研究と本院の實地經驗に成り日々數百の來院者に使用して絕大の信用を博し確實なる物詳細說明書送呈

發賣元 東京神田駿河臺袋町九 日本化粧品株式會社

金牌受領 登錄商標

本椿香油 本椿ポマード 婦女頭髮用

宮內省御內儀初め九條公爵、其他華族方御常用之榮を蒙る

毛を黑く長くつやを出し 癖毛くせ毛ぬけ毛折毛等を防ぐ事妙

本舖 大阪西横堀 三宅堂

賞 百圓進呈 大阪北詰角 東京三休橋 大阪有田ドラッグ商會

りん病 ばい毒

請合藥 特三円 並二円 送料十二錢 特二円 並一円五十錢

麻病藥主藥は治痲劑と心梅毒藥主藥は驅梅內服藥とし醫藥學上最有効と確定し帝國醫科大學病院等にて當揭配劑せる高貴藥なるを保證す若し前述の證言に違へる事を發見せる時は分析料 百圓進呈

にせ物

◎あらゆる治療をなすも効なき患者宛に角度來談あれ

大阪有田ドラッグ 藥を買取あれ 東京大阪各地ににせドラッグあり

京城南大門外停車場通 大阪有田ドラッグ商會滿鮮本部 （振替京城三七五番 電話二三六番）

京城黃金町三丁目 （全支店）
龍山練兵場前停留所 （全支店）
釜山大廳町三丁目 （全支店）
元山本町三丁目 （全支店）
平壤櫻町十二番地 （全支店）
仁川宮町二丁目 （全支店）

朝鮮のにせ物

京城、龍山、仁川等各地ににせドラッグあり瞞着せられざる樣御注意を乞ふ

讀者諸君 爲信用 藥店ダ 一ヶ所 東京許

全國到る所の都市朝鮮滿洲南清台灣等に支店あり

京城龍山其他各地に僞物有り御注意

大阪心齋橋筋本町 東京日本橋通四 有田ドラッグ商會

母と子（九十三）

北島春石作　森田久畫

弱き女（三）

何だ、そんな詰らねえ事かと、植惣は聊からず不足顔。

『へえ、今日はだしぬけに衝突かつたんで、先方ばかりか此方まで大面喰ひしたが、明日麹町のお邸へ行き、女中に鼻薬の一つもかませたら、何の手間暇もなく埒が明きやすが……唯それだけぢや面白くねえ、今夜は多分月がなからうと思ふから、先生のお供して中洲へ押し掛け、高松の野郎を鰹ちにしてくれやうぢやありやせんか。』

『暗撃ちは卑怯漢の用ゆる手段で、俺や親方のすべき事でない。』

『ぢや、佐久間の犬が遣る事ですかい。』

『まづはそんな處ぢやらう。なあ、今頼んだ事さへしてくれたらば、親方は立派に功が樹つ譯なんぢや。』

『うむ、解つた。』と、始めて合點が行つたらしく植惣はぽんと膝を打つた。

『先生、すつかり呑込めやしたぜ。高松の野郎なんぞ相手にしても埒が明かねえから、第一に奥さんの緣付先を突止め、今度の亭主に直談判。この女には些とばかり因縁があるんだ。さあ、誰に斷つて女房にしたんだと、尻を捲くつて苦情を持込む段取で。』

『こ、馬鹿なことを言つては可かん。』と、植樹は強か眉を打顰め『高保子は高松朝平の娘ぢや。親がその娘を何人に緣付けやうと、人の我々が容喙すべき權利がない。』

『ミなつた。』『卷の箇で脅し付ける外道具がありやせんぜ。』

『何有、高事はこの胸に在るで、安心して俺に任せてくれ。なあ、親方は今の仲頼を引受けてくれゝば宜いのぢや。』

『ぢや、こゝで小田原評定ばかりして、も始まらねえ。兎りかゝつた舟なら、らつこでも早いのが勝だから、俺やすぐ麹町へ行つて來やせう。』

『いや、さう慌て、は先方から怪しまれんとも限らぬで、明日が明後日にならうとも構はんよ。』

『ぢや、今日はこの儘お引取りとして。』と植惣はそろ〳〵踊り仕度。

『先生、折角のお出先をお引止め申して相濟みやせんでした。』

『もう出かけるを廢め、今夜は親方を相手に家で飲むとしよう。』

『そいつも異つて宜うがさ。ぢや、三公を伊勢屋へやつて、早速三升樽をさけて來させやせう。』

『面倒次手ぢや、これで美味さうな下地を見繕うてくれ。』

植惣が五圓紙幣を差出すと、植惣は慌て、大きな手をふつた。

『冗談ぢやねえ！先生からお言ひ出しなすつたんだから、滴庶は拔きにして酒の御馳走になる代り、此方から食物は持込みやさあ。』

『それでは困る……新ねからすつこ馳走になり詰めぢや。なあ稀には痩浪人にもおごらせてくれ。』

『でも、何だか變手古だなあ。』と無暗に頭を掻き散らしたが『ね、詰らねえ押問答を廢めにして、今夜は御馳走になりやせうぜ。』

『大急ぎで頼む！いざ酒をとなつたらば、もう咽喉佛が高鳴りを始めたぞ。』

『へ、、先生ご來たらまつたく底なしだから。』

『あツは、、、、親方も御多分に洩れぬ組ぢやてなあ。』

『酒なくて何のおのれが櫻かなだ。』と、緣先を離れた植惣は『おい、三公やい、三公』と呼びながら、大急ぎで自分の家へ驅戻つた。

と、それと一足違ひで、幸枝を連れた猫目が稍然と入つて來た。

◎最低級ですら巡査が百五十圓　小學教員百圓

……これは布哇での話……

東京市教育會派遣の守中市教育課長外小學校長の教育視察團一行は目下布哇を視察中であるが、桑港上陸前、布哇から寄せた最近の通信で、布哇の教育狀況の報告を大約左の如く言ひ送られて來た。ホノルヽでは所謂西班牙感冒が流行してゐたので檢疫が比較的嚴重であつた。一行は諸井總領事其他在留邦人の紹介でローヤルスクールを始め、カルヴエラスクール、

◆日本語學校 等を參觀した、最も深い印象を與へられたのはカルヴエラスクール（校長はフレザー夫人）であつた、校舍はバンガロー式の建築で各教室一々棟を異にした獨立家屋となつて居り一學級即ち一家庭といふ觀がある、生徒も教員も日、支、葡、西等各國人の集合であるが

◆奇異に感ぜられた事は、生徒は大概中流以上の子弟であるにも拘らず、其高半數は跣足のまゝであること、校庭に飲食店があつて生徒の爲にパン飲料水等を販賣して居ることであつた、布哇には純土人、混血土人、日本人、支那人、比律賓人、葡萄牙人、西班牙人及び其他白人が雜居して宛然

◆人種展覽會の觀があるが其内最も多いのは日本人で全人口の約三分の一強を占めてゐる又同島に於ける日本人出産數は一年四千百十二名で、死亡數は一千二百四十六名、差引約三千人が毎年増加する割である、男子は滿二十歳に達すれば

◆選擧權が得られるから今後二十年三十年もすれば頗る有望である、又布哇に於ける米國の公立小學校の教員俸給は平均八十一弗（百六十二圓）で初任給は五十弗（百圓）乃至六十弗（百二十圓）で

◆年々五弗以上の増給がある上、現今は一割五分増給されて居り、巡査の俸給は最低七十五弗（百五十圓）である

◎新らしい外國米の炊方　日本米同様に食られる

外國米の缺點は、日本米の様に粘り氣がないのと、味の惡い二點である、之れがある爲めに米價の高い今日、夫より三割以上も

◇廉い外米 を食る者が少いのは遺憾である、さらば日本人の口に適するやうな炊き方は、何うすれば可いかと種々工夫して見た末、日本米で外米を包んだ炊き方が一番好からう……と思つて、斯んな風な工風をした、先づ日本米を挽いてしん粉を作り

◇一升の外米 に對して右のしん粉一合を加へて、炊いて見ると所が口に慣れた日本米の細粉が外米の全部を包んで、粘り氣も程よく附き外米特有の臭氣は全く失せて、之れが外米かと疑ふ程の飯が出來た、しん粉の量はいろ〳〵加減して見たが、矢張

◇一升に一合 入れるのが最も好い、又しん粉を入れるのは最初は外米ばかりを煮て、其沸騰した時を見て、入れるのが最も好い

古本賣買　御報參上　京城明治町通り　野村書店　電話二〇〇五

◇贅澤な半襟模様

日一掛十圓も三十圓もする

近頃の婦人の裝飾品で刺繍模樣の無いものは殆どありませんが中でも半襟は刺繍が大流行です、而して此の半襟も年々贅澤となつて昨今では何處の店でも一掛に二十圓から三十五圓位のものを置いてゐ、それを平氣で買ふ婦人も少くないさうです、斯麼

◇高價な半襟 は如何なるものかと云ふと襟全體に空地無く布地の上に更に刺繍で二重なれば普通の處を四五重に加工しそれに贅澤を盡した繡模樣などで色を現はしたのや雲の様なものを如何にも巧妙に見せたので其の加工から云へば或ひは三十圓以上の價格があるかも知れませんがこれを平氣で掛ける人は

◇贅澤を越え て消樂とでも云ひませうか、大體半襟はそれ全體が裝飾となるのでなく現はれる部分はほんの眞中だけであるさはそんなに立派な技工も著物に隠れて居ります、半襟は装飾品であつて贅澤品としたくありません、やはり實用的裝飾品として模様は眞中のみに止めたいものです

◎選擧法の暗礁　政友會幹部觀測

員各個人の利害に於ても根柢的に……

◎織烈なる論戰

……

大阪株式特電

……

◎寒燈吟（其の二）

不頓　洌水吟社

掛菜掩ふて日色貧しき崖ぶ倉　友部
鞍腹に何を當つる千菜哉　同
土生める山氣新たに千菜哉　同
掛菜して定まる心大濕の地　同
風に切れて地上に落つ千菜哉　同
裏口の杉垣伸びし千菜哉　同
壁際の蝕の穴や千菜釣る　蕉左
厳の日に千菜吊るゝ小家哉　同
小包の破れて着くや年の暮　同
功過相償ふ今年も暮れにけり　同
書堂の壁齒黑々や釣千菜　小風山
千菜かけて噂話や縄拵へ　同
縄吉に掛けし千菜や柯子歌　同
いさゝかの千菜つり野菜屑哉　同
年の暮急辯あり岸はるか　同
物干や竿にも千菜釣られ　荻村
千菜掛けて見上ぐる軒の高さ哉　同
柿の木や所々に千菜哉　同
鮭提げて行く人もあり年の暮　同
雀一つ戻る淋し千菜の樹　芸
縄切れて千菜に犬の又臥す　六
屠掛師の尻當てし千菜哉　同
時もこめに千菜に雀哉　同
泉と障子に明るや年の暮　同
村の小猿海毛冷や年の暮　同

柳壇

（一月二十二日）

○天

誰がごう運んで来たか蛇の石　厄介坊

○地

京へ來る迄は眞面目な男かな　梨軒

○人

京の夢大阪の夢汽車にのせ　架空坊

○佳句

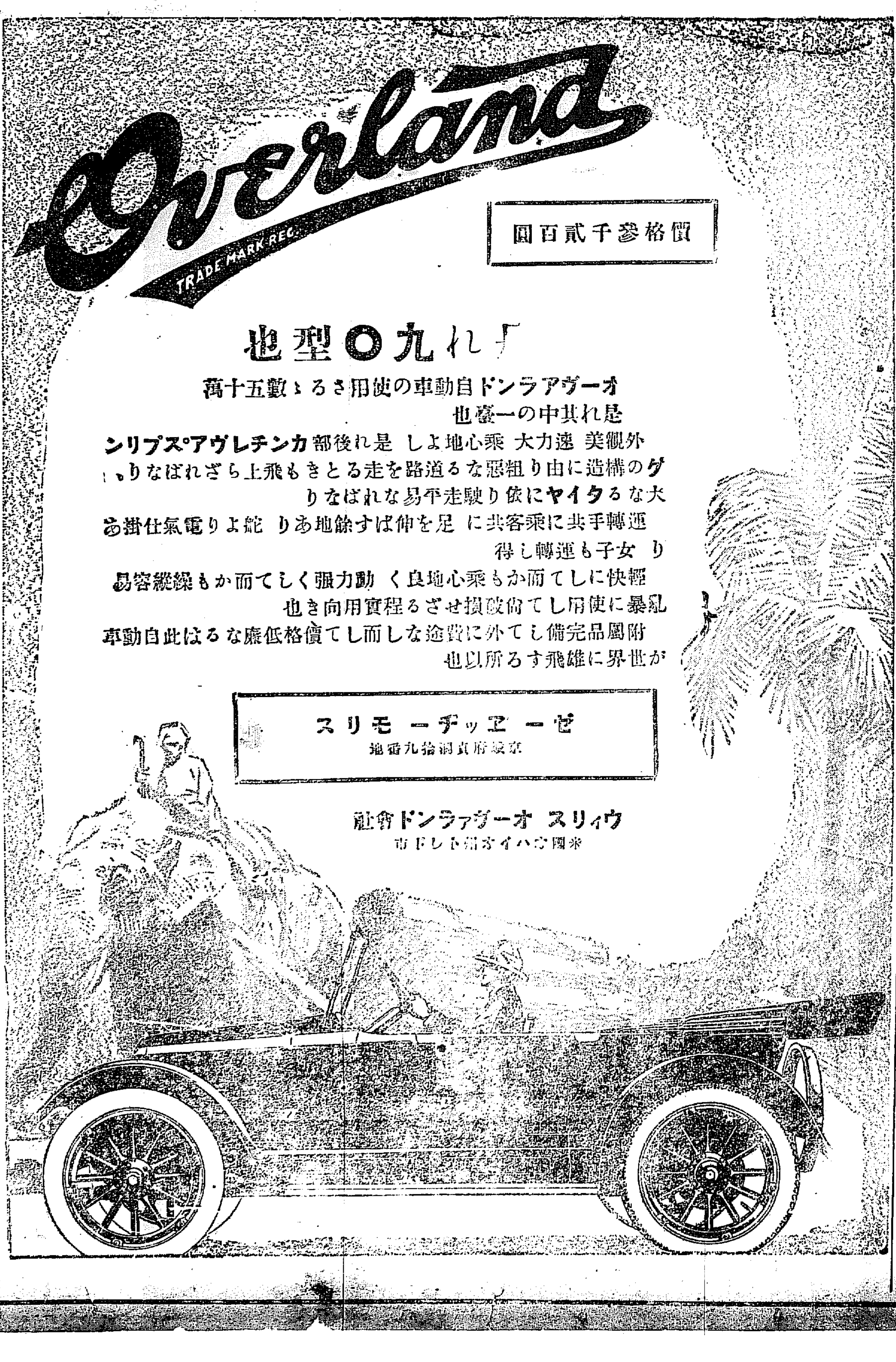
此役ご書く報告は野暮な用　典多
日参の御利益がある課長邸　梨軒
開城の前夜忠臣みな死に　丁六

▣大邱慶州聞雞鐘より　小麥子

末枯や小松の中の栗大樹
冬山や動かぬ雲を彩る旭
冬雲や土に慘める麥の色
白壁に垂れし千菜や風多少
冬山の裾に沈める小家哉
冬野行くの高荷に暮風哉
夕陽落つ野中の丘や聞き梟
鈍色に包ぬ村や樹梢高き

◇今日の御惣菜◇

◇鯨昆布 ……



電話賣買　萬年社　京城明治町一丁目　電話一八四四番

繩叭廉價販賣　全北沃溝産繩叭　群山府九条通　森田商店　電話三三七番　振替京城二四五七

新案獨學　イロハ辭典付　鮮語自在
誰れにもすぐに間に合ふ　必ず上手になる理想的新案獨學書なり
發賣元　京城太平通　京城日報社代理部（振替京城三〇〇番）
ポケット形二百頁　定價五十錢　送料二錢　代金引換小包七十錢

日本一　ほまれ味噌
日本醬油株式會社京城出張所　電話長二四五番

七日ツケタラ鏡ヲごらん色白くなるゲンソ液　小壜二十錢　徳用四十錢

模範牛乳　ニウソ　京城東四軒町　蓬萊牧場　電話五二番

互光商會汽船出帆廣告

尼崎汽船出帆

共同汽船出帆